令和元年度版

# 豊田市森づくり白書

豊田市

＝表紙の写真＝

（一社）ウッディーラー豊田による木製の机を作成するイベント

令和元年度版

# 豊田市森づくり白書

この報告書は、豊田市の森林の状況や豊田市が行った森づくり施策等について、令和元年度の実績をまとめたもので、豊田市森づくり条例第19条の規定に基づき、豊田市が毎年作成して公表するものです。

**豊田市森づくり条例**

（年次報告書）

第19条　市長は、森林の状況、森づくり基本計画に基づき実施された施策の状況等について、年次報告書を作成し、これを公表するものとする。

# 目　　次

**第１章 森林及び林業施策 ---------- 1**

Ⅰ　重点プロジェクト ---------- 1

1 各プロジェクトの達成状況 ---------- 1

（1） 間伐推進プロジェクト ---------- 1

（2） 森林保全推進プロジェクト ---------- 1

（3） 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト ---------- 2

（4） 森づくり人材育成プロジェクト ---------- 2

2 各プロジェクトの実施状況 ---------- 3

（1） 間伐推進プロジェクト ---------- 3

（2） 森林保全推進プロジェクト ---------- 5

（3） 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト ---------- 5

（4） 森づくり人材育成プロジェクト ---------- 10

Ⅱ　そのほかの主要な施策 ---------- 13

1 各施策の実施状況 ---------- 13

（1） 森林情報の管理に関する施策 ---------- 13

（2） 木材以外の森林資源の活用に関する施策 ---------- 13

（3） 森林普及事業に関する施策 ---------- 13

（4） 山村地域の活性化と文化の伝承に関する施策 ---------- 15

（5） ＮＰＯ・森林ボランティア等との共働による森づくりに関する施策 ---------- 15

（6） 事業評価に関する施策 ---------- 16

（7） その他の施策 ---------- 18

Ⅲ 森づくり構想及び森づくり基本計画等に関する業務 ---------- 20

1 「とよた森づくり委員会」の開催 ---------- 20

**第２章 施策以外の業務 ---------- 21**

Ⅰ　管理業務 ---------- 21

1 森林法に係る各種業務 ---------- 21

（1） 伐採及び伐採後の造林の届出書の受理 ---------- 21

（2） 森林の土地の所有者届の受理 ---------- 21

2 森林課所管土地・建物の管理 ---------- 21

（1） 豊田市森林会館の管理 ---------- 21

（2） 市有林の管理 ---------- 21

（3） 林道維持管理 ---------- 22

Ⅱ　広報業務 ---------- 23

1 講演、視察受入等の森づくり推進活動 ---------- 23

**第３章 決　算 ---------- 24**

**参　考---------- 25**

Ⅰ　豊田市における森林・林業の現況 ----------25

1 豊田市の森林の現状----------25

2 木材価格の変化と木材生産量----------27

3 森づくりの担い手「豊田森林組合」の現状----------28

（1）　組　織----------28

（2）　事業活動 ----------29

Ⅱ　産業部森林課の組織と主な業務 ----------30

**付　表---------- 31**

利用される方へ

1．H17、H18、…… H30、R1は、それぞれ年度を表します。
2．時点は令和２年3月31日現在及び各年度末の数値を記載しました。
3．事業量の数値は、四捨五入していますので、内訳と計は必ずしも一致しないことがあります。
4．表中符号の用法は次のとおりです。
「０」：四捨五入後単位未満、「－」：該当数字なし、「…」：不明

# 第１章　森林及び林業施策

令和元年度は、豊田市が平成の広域合併をしてから15年目にあたるとともに、平成30年3月に策定した「新・豊田市100年の森づくり構想」（以下「新・森づくり構想」）、及び同時に改正した「第３次森づくり基本計画」（以下「第３次計画」）に定める事業期間の２年目となります。

第３次計画では４つの重点プロジェクトに加え、そのほかの主要な施策７つを設定しました。これら施策により公益的機能を重視した森づくりを実施していきます。

## Ⅰ　重点プロジェクト

第３次計画の中で、10年間に12,000ha の間伐を実施するという計画目標値を達成するために、次の４つの重点プロジェクトを定め、これらの達成状況及び実施状況を検証しました。

### １ 各プロジェクトの達成状況

### （１） 間伐推進プロジェクト

間伐面積については、各種の間伐補助事業等を総合的に組み合わせた結果、821ha となりました。前年度の実績960ha と比較して139ha 減少し、達成率は68%でした（p.3）。

当年度は森づくり会議が新たに２会議設立され、森づくり団地の樹立面積は、1,062ha（達成率89%）、累積では会議数が111、団地樹立面積が12,131ha（達成率77%）となりました（p.4）。

**〈間伐推進プロジェクトの達成状況〉**

| 指　標 | 実　績（A）<br>R1（2019）年度 | 目　標（B）<br>上段：2022 年度<br>下段：2027 年度 | 達成率（A/B）<br>上段：2022 年度<br>下段：2027 年度 |
|---|---|---|---|
| 間伐面積（ha/年） | 821 | 1,200 | 68% |
| | | 1,200 | 68% |
| 森づくり団地樹立面積（ha/年） | 1,062 | 1,200 | 89% |
| | | 見直し時に再設定 | － |
| 森づくり団地樹立累積面積（ha） | 12,131 | 15,750 | 77% |
| | | 見直し時に再設定 | － |

### （２） 森林保全推進プロジェクト

皆伐や林業用路網開設等は、森林環境を大幅に変え、森林土壌に大きなダメージを与える行為です。これらの影響を最小限に抑えるため、市では平成30年度に「豊田市森林保全ガイドライン」（以下「ガイドライン」）を策定し、これに沿った指導を行っています。伐採及び伐採後の造林の届出書が提出された時や届け出前の相談があった際に、申請者と一緒に予定地を歩いて、ガイドラインに定めた傾斜35度以上の急傾斜地、0次谷、地質などの危険地帯の有無や河畔林の確認、皆伐上限面積（5ha）が守られているかどうかをチェックしています。令和元年度は、計15件・14ha について指導を行いました（p.5）。

## （３） 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト

地域材の利用促進には、木材生産を低コストで行うことや立地に応じた作業システムで森林保全に配慮すること、川上（山元）から川中（製材所等）、川下（消費者）に至る一連の流れの円滑化を図ることが重要です。当年度は木材生産量の拡大や新たな作業システムの導入のために、各施策に取り組みました。その結果、伐採搬出コストは10,726円/$m^3$（達成率：27%（2022年度）、9%（2027年度））となりました。これは前年度実績9,887円/$m^3$と比較して、839円の増加となりました。また、間伐に伴う素材生産量は31,804$m^3$（達成率：127%（2022年度）、106%（2027年度））となりました。これは前年度実績27,978$m^3$と比較し、3,826$m^3$の増加でした。さらに、中核製材工場における原木取扱量は31,704$m^3$（達成率70%）、対前年度差16,214 $m^3$の増加となりました。

**〈地域材の生産・流通・利用推進プロジェクトの達成状況〉**

| 指 標 | 実 績（A）<br>R1（2019）年度 | 目 標（B）<br>上段：2022 年度<br>下段：2027 年度 | 達成率（A/B）<br>上段：2022 年度<br>下段：2027 年度 |
|---|---|---|---|
| 伐採搬出コスト（円/$m^3$） | 10,726 | 10,000 | 27% |
| | | 8,000 | 9% |
| 間伐に伴う素材生産量（$m^3$） | 31,804 | 25,000 | 127% |
| | | 30,000 | 106% |
| 中核製材工場における原木取扱量（$m^3$） | 31,704 | 45,000 | 70% |
| | | 45,000 | 70% |

注１　伐採・搬出コストは、伐採・集材・造材・搬出（土場）までにかかるトータル経費（消費税込み）のこととした。
　２　伐採搬出コストの達成率については、（基準年のコスト － 実績）÷（基準年のコスト － 目標）。基準年のコストは第3次計画樹立時（2016年度）の11,000円/$m^3$とした。

## （４） 森づくり人材育成プロジェクト

新・森づくり構想の実現の担い手となるプロフェッショナルな林業技術者の育成として、森林施業プランナーの技術育成のための「森づくり人材育成研修」を平成30年度より開始しました。岐阜県立森林文化アカデミーと連携し、豊田森林組合の中堅職員６名が10日間の研修を受講しました（p.11）。また、林業に必要な基本的技術の習得を目的とする「緑の雇用」の新規研修生を４名受け入れました（p.12）。

今後は、これらの研修を受けた人材が永続的に林業作業に従事できるように、森林組合等の林業事業体の安定経営や各人材の待遇改善が必要となります。

**〈森づくり人材育成プロジェクトの達成状況〉**

| 指 標 | 実 績（A）<br>R1（2019）年度 | 目 標（B） | 達成率（A/B） |
|---|---|---|---|
| 森づくり人材育成研修生（人） | 6 | 4 | 150% |
| 「緑の雇用」新規研修生（人） | 4 | 3 | 133% |

注１　目標値は2022、2027年度ともに同じ

## 2 各プロジェクトの実施状況

### （1） 間伐推進プロジェクト

#### ① 間伐推進計画

本プロジェクトは、森づくり構想の軸となる事業で、地域森づくり会議方式の団地化をはじめ各種施策を総合的に利用して間伐を推進していくものです。平成30年度からは第３次計画に基づく新しい間伐推進プロジェクトになり、森づくり情報基盤整備（新・森づくり構想Ｐ.32参照）に基づき間伐推進計画を見直し、年間1,200ha の間伐を安定的に実施する目標に改めました。また、事業別に間伐実施面積の目安を設け実行管理を行います。なお、公有林（市有林・県有林）及び県分収林の間伐は、計画対象外として扱っています。

当年度の間伐実績は821ha であり、前年度960ha と比較して139ha の減少となりました。また、間伐面積のうち、切置き間伐は631ha、利用間伐は190ha でした。間伐の事業地は地域森づくり会議の団地化によって確保しているため、引き続き団地化の促進と、団地内で２回目の間伐が必要な人工林を事業地に加え、全体の間伐面積の増加を図っていきます。

**〈事業別の間伐実施面積の目標と実績（令和元年度）〉** （単位：ha）

| 治山 | あいち森と緑づくり | 矢作川水源基金水源林対策 | 水源環境保全林 | 水道水源特別区域森づくり | 間伐促進事業 | | | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 市単独 | 水道水源 | 公共造林 | 非公共造林 | |
| 48.45 | 298.63 | 99.56 | 12.42 | 22.04 | 88.94 | 79.26 | 135.93 | 36.18 | 821.41 |

注１　年度別･事業別間伐実施面積は付表 1 参照
　２　各市間伐補助事業の詳細は付表 2 参照

**豊田市予算に関わる間伐事業の実績**

市は、県や（公財）矢作川水源基金が実施する間伐補助事業に対する補助金の上乗せ、水源環境保全林整備事業により合計338ha の間伐を実施しました。このうち、当該年度から開始した水道水源特別区域森づくり事業※では、牛地町鳩吹及び松ヶ瀬において、切置き間伐22ha（13,739千円）を実施しました。また、水源環境保全林整備事業で実施した12ha は美しい森林づくり基盤整備交付金を活用しました。

※ 豊田市は矢作ダム左岸の一定区域を水道水源地の重要区域と位置付け、所有者に代わり森づくりを行う事業（平成30年度版　豊田市森づくり白書 p.4参照）。

**〈豊田市間伐事業　事業別内訳（令和元年度）〉** （単位：ha･千円）

| 事業名 | | 事業量 | 事業費 | 財源内訳 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 国･県補助金 | 市費 | 矢作川水源基金 | 所有者負担金 |
| 矢作川水源基金水源林対策 | | 99.56 | 37,569 | – | 20,730 | 9,406 | 7,434 |
| 水源環境保全林整備 | | 12.42 | 5,434 | 2,000 | 3,434 | – | – |
| 水道水源特別区域森づくり | | 22.04 | 13,739 | – | 13,739 | – | – |
| 間伐促進 | 市単独 | 88.94 | 32,389 | – | 32,053 | – | 336 |
| | 水道水源 | 79.26 | 30,038 | – | 30,000 | – | 39 |
| | 非公共造林 | 36.18 | 29,750 | 16,419 | 1,642 | – | 11,689 |
| 計 | | 338.40 | 148,919 | 18,419 | 101,598 | 9,406 | 19,498 |

### ② 提案型集約化施業による間伐事業地の確保

**地域森づくり会議方式による団地化の推進**

森づくり会議２会議が設置され、累計では111会議となりました。森づくり団地は、44団地で総面積1,062ha の団地を新たに認定し、累計では554団地、12,131ha となりました。

市と豊田森林組合で組織した「団地間伐促進チーム」や、市が人件費を補助している「森づくり団地化推進員」（緑のコーディネーター）が推進力となり、年間で約1,000ha の団地化ができています。今後は、年間認定面積を保ちつつ効率的に間伐の実施につなげることが重要となっています。とくに、当初に団地認定した人工林の２回目の間伐が必要になってきており、新規事業地と並行して間伐を計画的に進めていく必要があります。

**〈令和元年度に設立された森づくり会議〉**　（単位：人）

| 地区 | 名 称 | 構成員数 | 設立年月日 | 会議の区域 |
|---|---|---|---|---|
| 小原 | 北篠平地域森づくり会議 | 36 | R1.6.11 | 北篠平町 |
| 旭 | 坪崎地域森づくり会議 | 5 | R1.11.11 | 坪崎町 |

**〈令和元年度に設立された森づくり会議及び団地〉**　（単位：個･ha）

| 年度 | 豊田 | 小原･藤岡 | 足助 | 下山 | 旭 | 稲武 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 会議数 | － | 1 | － | － | 1 | － | 2 |
| 団地数 | － | 1 | 9 | 13 | 11 | 10 | 44 |
| 面 積 | － | 25.31 | 208.56 | 333.41 | 194.24 | 300.76 | 1,062.28 |

注１　付表 3、付表 4 参照

**あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林整備事業）等の候補地取りまとめ業務**

愛知県から候補地取りまとめ業務を委託されており、「あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）」では354ha（69,791千円）、「保安林事業」では24ha（4,780千円）実施しています。なお、これら候補地は、地域森づくり会議方式により取りまとめられたものの一部となります（付表 5 参照）

**水道水源特別区域森づくり事業候補地取りまとめ業務**

水道水源特別区域森づくり事業による間伐にあたり、牛地町上倉、吉原及び駒山の一部34ha を候補地として取りまとめました。

### ③ 森林経営計画認定状況

森林経営計画※は足助地区３件（170ha）、旭地区２件（134ha）、稲武地区２件（77ha）の計７件（381ha）を認定しました（付表 6 参照）。

※ 森林経営計画とは、森林法に基づき「森林所有者」又は「森林の経営委託を受けた者」が、一体的なまとまりのある森林を対象に、５年を１期に立てる森林の施業及び保護についての計画であり、市が認定するものです。

### ④ ゾーニングと将来の森林像（目標林型）を目指した施業

ゾーニングと目標林型の設定は、「新・森づくり構想」において地域森づくり会議方式による団地化を通して、森林所有者に提案し協議した上で進めていくことになっています。ゾーニング

や目標林型の設定に必要な知識・技術は、豊田森林組合職員を対象とした岐阜県立森林文化アカデミーによる研修で学びました。しかし令和元年度は、地域森づくり会議方式によるゾーニング等の実績はありませんでした。

## （２） 森林保全推進プロジェクト

### ① 森林保全のルールの設定

土砂流出防止や洪水防止など森林のもつ公益的機能を維持するためには、皆伐や新規の林業用路網開設に係る最低限のルール設定をする必要があります。そこで市は、森林所有者や林業事業体など地域との連携・協力を図りながら取り組む、「豊田市森林保全ガイドライン」（以下「ガイドライン」）を平成30年度に策定しました。ガイドラインは、森林生態・地質・砂防の各分野の専門家を招致した「森林保全ガイドライン策定検討会」のアドバイスを受けて策定しました。

**ガイドラインの運用実績**

ガイドラインを策定して以降、伐採及び伐採後の造林の届出書が提出された時や届け出前の相談があった際に、以下のとおり現地調査を実施しました。ガイドラインで定めた傾斜35度以上の急傾斜地、0次谷、地質が脆弱な箇所などの危険地帯や、河畔林、皆伐上限面積（5ha）などの基準に留意して現地確認しています。現場の状況を把握した上で、森林所有者・伐採事業者と協議し、ガイドラインに沿った行為になるよう指導を継続していきます。

**〈ガイドライン運用実績〉**　（単位:ha）

| 地区 | 面積 | 件 数 |
|---|---|---|
| 豊田 | 0.16 | 1 |
| 小原 | 3.09 | 1 |
| 足助 | 3.62 | 2 |
| 下山 | 1.65 | 5 |
| 旭 | 1.39 | 2 |
| 稲武 | 3.61 | 4 |
| 計 | 13.52 | 15 |

注１　地区ごとの指導件数と面積

**〈伐採事業者との事前の現場確認〉**

### ② 立地条件等に応じたゾーニングの実施

新・森づくり構想では、人工林を「木材生産林」「針広混交誘導林」、天然林を「利用天然林」「保全天然林」の４つに区分するゾーニング設定を行いました。ゾーニングは、地形・傾斜などの自然的な立地条件や経済的な条件に応じて、豊田森林組合の森林施業プランナーが森林所有者に提案して同意を得て進めていくことになっています。しかし令和元年度は、地域森づくり会議方式によるゾーニングの実績はありませんでした。

## （３） 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト

地域材の利用促進には、木材生産を低コストで行うことや立地に応じた作業システムで森林保全に配慮すること、川上（山元）から川中（製材所等）、川下（消費者）に至る一連の流れの円滑化を図ることが重要です。そこで本プロジェクトでは、これら課題について取り組みました。

### ① 豊田型作業システムの確立

令和元年度は、前年度に引き続き豊田森林組合と市で「新・作業システム部会」を開催し、急傾斜地でも林地を保全しつつ、低コストで実施できるタワーヤーダの導入にむけた具体的な検討を進めました。市内の現地視察や代理店との協議、欧州メーカーへの訪問調査を実施しました。

市内の過去の施業地や候補地の現場を部会メンバーで回り、従来の作業システムの設計・施業方法が技術面や採算面でどのような課題があって、タワーヤーダの導入によりどこまで対応可能で、限界はどこなのかについて検討を行いました。

また、導入するタワーヤーダに求める規格や機能等を明確にするため、９月には、先進的に欧州のタワーヤーダを導入している高知県の香美森林組合を視察し、欧州製タワーヤーダの導入経緯や使用状況について聞き取りを行いました。さらに10月には、オーストリアの林業展「アウストロフォーマ2019」や、各メーカーのタワーヤーダ稼動現場を視察し、メーカーごとの特徴や生産体制等の詳細情報を入手しました。

### ② 高性能林業機械の導入及び更新の促進

**豊田森林組合の高性能林業機械保有数**

豊田森林組合は、スイングヤーダ、プロセッサ、フォワーダ及びグラップルの計20台保有しています。

**〈豊田森林組合の高性能林業機械保有数（令和元年度）〉**　（単位：台）

| スイングヤーダ | プロセッサ | フォワーダ | タワーヤーダ | ハーベスタ | グラップル | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 5(－) | 6(－) | 6(1) | －(－) | －(－) | 3(－) | 20(1) |

注１　付表 7 参照　　資料：豊田森林組合
　２ ( )内は県林業振興基金からのレンタルで内数。

**高性能林業機械施業促進補助金**

市は、（財）愛知県林業振興基金及び民間から高性能林業機械をレンタルで使用している豊田森林組合に対して、利用料の1/2を助成しています。当年度には計３台リースし、補助金額は1,406千円となりました（付表 8 参照）。

**高性能林業機械導入補助金**

市は、素材生産能力の拡大を図るため、高性能林業機械を導入する豊田森林組合に対して、機械購入経費の3/10を助成していますが、当年度の実績はありませんでした。

**高性能林業機械更新補助金**

市は、素材生産能力の拡大を図るため、高性能林業機械を使用している豊田森林組合に対して、機械更新料の2/10を助成していますが、当年度の実績はありませんでした。

### ③ 「林業用路網」の整備

**林業用路網の開設実績**

第３次計画に基づき利用間伐を推進するために、簡易な林業用路網である林業専用道、作業道及び搬出路の整備に重点的に努めた結果、総開設延長が45km となりました。

**〈林業用路網の開設延長（令和元年度）〉**　　(単位：km)

| 林 道 | 林業専用道 | 作業道 | | | | 搬出路 | | | 合 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 単市作業道 | 水源基金 | あいち森と緑づくり事業 | 計 | 私有林 | 市有林 | 計 | |
| 0.59 | 1.04 | 0.77 | 2.68 | – | 3.45 | 38.15 | 1.76 | 39.91 | 44.99 |

注1　付表 9、付表 10 参照

**〈林道開設（野入立野線･稲武地区）〉**

**〈林業専用道開設（和合黒坂支線･下山地区）〉**

**林道等整備事業**

効率的な木材運搬及び地域の林業振興のため、林道を591m 開設しました。このうち、愛知県の補助事業制度を活用し、野入立野線（稲武地区）80m 及び大日影支線（足助地区）27m を施工しました（付表 11 参照）。また、愛知県が河上瀬柏洞線（稲武地区）80m 及び田平沢平瀬線（下山地区）404m を代行施工しました（付表 12 参照）。

さらに開設ではありませんが、藤岡地区の別所線394m について、ため池改修工事に伴い、愛知県から市林道に編入しました。

**林業専用道開設事業**

林内路網の整備のため、国の補助事業制度を活用し、丈夫で簡易な林業専用道の整備に取り組み、和合黒坂支線（下山地区）218m を施工しました。なお、平成30年度からの事業の繰越分823m と合わせると、1,041m となります（付表 13 参照）。

**作業道整備事業**

平成20年度から始まった市の間伐材搬出路網（作業道）開設事業により、豊田森林組合が開設した作業道の実績は768mとなりました（付表 14 参照）。

また、（財）矢作川水源基金の補助事業により、豊田森林組合が開設した作業道の実績は2,680m となりました（付表 15 参照）。

**搬出路整備事業**

平成20年度から始まった市の補助事業により、私有林で豊田森林組合が開設した搬出路開設の実績として、豊田森林組合施工が34,974m（付表 16 参照）、自力施工が3,180m（付表 17 参照）、全体で38,154mの搬出路を整備しました。

また、市の補助事業とは別に、伊勢神市有林の間伐のため搬出路1,756m を開設しました（p.21）

**④ 林業用路網の維持管理**

効率的な木材運搬及び安全な林道利用のため、国及び愛知県の補助事業制度を活用し、林道の改良及び舗装整備に取り組み（付表 18 参照）、改良事業は９路線、940m（付表 19 参照）、舗装事業は７路線、3,007m となりました（付表 20 参照）。

**⑤ 利用拡大の推進**

地域材が市内で常態的に利活用され、木の良さと木材利用への関心が高まるように、地域材製品の開発、木育活動等を通して、地域の木材関係者と共働により市民が木に触れあう機会の創出を図っています。

木材利用を促進する（一社）ウッディーラー豊田では、ラグビーワールドカップ2019の際に開催された「まるごととよた展」において、木製フレームを活用し、和をイメージしたフォトブースを設置することにより、市民はもちろん、海外の来訪者へも木材の PR を行うことができました。

また、９月にオープンした「豊田市駅東口まちなか広場（とよしば）」や、豊田市駅の改札と「KiTARA」をつなぐ歩道橋、矢作川河川敷の歩道等に地域材を取り入れることができました。さらには、森林ツアー・勉強会を計５回実施し、木材関係者やボランティアと共働で木育イベントを開催するなど、多くの市民に地域材に触れてもらうことができました。

加えて、６月に開催された全国林業後継者大会の記念品として、地域材を活用したノベルティーグッズを配布し、参加者へ地域材を PR することができました。

ウッディーラー豊田では、指定管理を担う豊田市森林会館を拠点とし、会員企業と連携し、引き続き豊田市産材を活用した商品開発、木材に関わる勉強会やツアーを実施しながら地域材の需要拡大を促進します。

**〈一般社団法人ウッディーラー豊田の構成員〉**

| | | |
|---|---|---|
| 役員 | 理事長 | 樋口　真明 |
| | 理　事 | 鈴木　禎一（あさひ製材協同組合（現：八幡製材））、伊藤　浩二（豊田森林組合）、伊藤　秀和（西垣林業（株））、小野　健（（株）小野デザイン事務所）、古澤　彰朗（豊田市産業部森林課） |
| | 監　事 | 山﨑　真理子（名古屋大学） |
| 会員 | 96者 | |

**緑の循環認証会議（ＳＧＥＣ）森林管理認証の取得**

今後の地域産材の高付加価値化や国際基準に基づく持続可能な森林管理の検証を図るため、御内市有林396.94ha において（一社）緑の循環認証会議（ＳＧＥＣ）の森林管理認証※を取得しています（認証期間：平成29年8月25日～令和4年8月24日）。森林管理認証について、定期審査の結果、引き続き認証が認められました。今後は、国際森林認証材の需要を踏まえた木材供給や、持続可能な森林管理手法の民有林への普及に向けた検討を進めます。

※ ＳＧＥＣ森林認証制度とは、森林管理方針や、労働者安全性の確保、森林環境の保全、社会的な貢献などを評価し、適切な森林管理であることを認証する制度であり、国際的な木材調達の基準として、また、合法木材やトレーサビリティの証明として利用されています。

### ⑥ 市民理解の促進

**木育イベント等**

地域材の普及啓発として、木に触れ、木の良さを知り、日常生活の中に木材を取り入れてもらうきっかけづくりとして、以下の木育イベントなどを開催しました。

**〈地域材の普及啓発のために実施したイベント（令和元年度）〉** (単位：人)

| イベント名 | 開催日 | 会 場 | 参加者数 | 内 容 |
|---|---|---|---|---|
| 産業フェスタ（出展） | 8月24日<br>25日 | 豊田スタジアム | 178 | 木工工作<br>（木ぼっくり） |
| ウッドトイカーニバル2019 | 11月23日<br>24日 | A館T-FACE<br>(松坂屋豊田店上階) | 3,700<br>(23日 1,700<br>24日 2,000) | 地域材遊具などによる木育 |

これらイベントのうち、ウッドトイカーニバル2019は豊田市、豊田森林組合、地元の木材事業者（製材事業者、工務店、設計事務所など）で構成する「とよた地域材利用促進協議会」が主体となり実施しました。

**〈とよた地域材利用促進協議会〉**

| | |
|---|---|
| 会長 | 鈴木 誠美（豊田森林組合 代表理事組合長） |
| 構成員 | 豊田森林組合、あさひ製材協同組合（現：八幡製材）、水嶋建設（株）、足助町木材協同組合、（一社）ウッディーラー豊田、（株）小野デザイン事務所、豊田市 |

**〈ウッドトイカーニバル2019の主な出展内容〉**

| 内 容 | 出展者 |
|---|---|
| 木製オルガン | 増田氏 |
| からくり円盤/からくり階段 | kenkobo |
| 小物づくりからはじまる家づくり | （株）後藤建築 |
| 森の香りのモイストポプリづくり | Prana |
| 糸かけ曼荼羅アート | manamana |
| WOOD 歯車 | トキワランバテック（株） |
| アニマルカリモク | カリモク家具 |
| 豊田の木でグリーンウッドワーク | 人と木をつなげるプロジェクト |
| 親子で木工家具 | 水嶋建設（株） |
| パーツを組み立ておもちゃ作り | 糸のこアート |
| 木工で作る本格的ゴム銃 | フォレスト工房 |

| 内 容 | 出展者 |
|---|---|
| こどもカラクリ教室 | 西垣林業（株）/愛知工業大学 |
| 三河材でできた家具展示・販売 | （株）杉生 |
| 飛騨から届く森の香りとぬくもり | 飛騨産業（株） |
| アニマルベンチ | 足助町木材協同組合 |
| 木育ひろばで遊んじゃおう！ | 豊田森林組合 |
| ６歳になったら机を作ろう/木育インストラクター | （一社）ウッディーラー豊田 |
| スタンプラリー、自然の恵みで木ぼっくりをつくろう！ | 豊田市/豊田市林業振興会議 |

**〈ウッドトイカーニバル2019の様子〉**

**地域材を活用した木のおもちゃ寄贈**

豊かな森林資源の活用と、木材を身近に感じてもらうことを目的に、飛騨産業株式会社協力の下、木製マグネットパズルと木枠ホワイトボードを畝部東町の柳川瀬子どもつどいの広場（にこにこ）へプレゼントしました。

**⑦ 公共建築物等における地域材の利用**

公共施設の建築や道路工事等の際に地域材を積極的に活用し、地域材のＰＲと利用の促進を図っています。高嶺こども園のリニューアルや建設用資材、土木工事用の看板・杭・柵等の材料として85m$^3$の地域材を利用しました（付表 21 参照）。

## （4） 森づくり人材育成プロジェクト

林業労働者の高齢化・人手不足・人材不足が課題となっているなか、市が目指す森づくり構想の実現に向けて、その担い手となるプロフェッショナルな林業技術者を育成します。

**① 森づくり人材育成研修（森林施業プランナーの育成）**

豊田市は、平成30年度から、岐阜県立森林文化アカデミーと連携して、林業に携わる人材の育成を目的とした「森づくり人材育成研修」を実施しています。令和元年度は平成30年度から引き続き、豊田森林組合の中堅職員６名を対象とした研修を行いました。

**〈森づくり人材育成研修の実施内容（令和元年度）〉**

| 実 施 日 | 研 修 名 | 研 修 内 容 | 場　所 | 講　師 |
|---|---|---|---|---|
| 7月18日～<br>7月19日 | 木材の流通・加工、<br>木材市場 | ・広葉樹材利用とスギ・ヒノキ大径材利用<br>・視察（美並サテライト、美山地域の製材所、小林三之助商店、親和木材、河合銘木材） | 森林文化<br>アカデミー | 中通係長<br>長谷川部長 |
| 9月5日～<br>9月6日 | 作業システム | ・豊田森林組合の作業システムの効率性検証 | 豊田森林組合他 | 杉本　和也<br>講師 |
| 10月23日～<br>10月24日 | 将来木施業、<br>森林のゾーニング | ・前回の振り返り<br>・モデル林の現地検討 | 豊田森林組合他 | 横井　秀一<br>教授 |
| 12月10日 | 壊れにくい森林作業道 | ・前回の振り返り<br>・作業道開設後の現地検証 | 豊田森林組合他 | 臼田　寿生<br>専門研究員<br>(岐阜県森林研究所) |
| 1月9日 | 成果発表会 | ・研修生による成果発表(30分/人)<br>・２年間で学んだこと、今後の業務にどう生かすかの行動計画<br>・２年間の担当講師によるコメント | 森林文化<br>アカデミー | 関係者一同 |
| 2月13日 | 補講 | ・森林組合の経営・会計 | 豊田森林組合他 | 新永　智士<br>(鹿児島大学<br>客員准教授) |

**〈講義（座学）の様子〉**

**〈講義（現地実習）の様子〉**

**② 国内外の林業教育・研究機関との連携による人材育成**

岐阜県飛騨市で令和元年７月に開催されたスイス・フォレスター研修会に参加しました。この研修会の講師を務めるロルフ・シュトリッカー氏を平成28年度に豊田市に招聘し、研修会を開催しており、その後も交流を続けています。

また、平成28年度から交流しているドイツ・ロッテンブルク大学とも定期的に情報交換を行い、令和元年10月に実施した欧州調査ではバイエルン州の森を案内してもらいました。

さらに、市職員が森林・林業に関する専門的な知識及び技術を身に着けるため、森林課の職員１名を岐阜県立森林文化アカデミーに実務研修生として派遣させました。

### ③ 森づくり人材の確保等

**「緑の雇用」事業等の活用**

「緑の雇用」事業は愛知県森林組合連合会からの委託を受けて、豊田森林組合が事業を実施しています。なお、豊田森林組合は、合併前の平成15年度より積極的に本事業を活用しており、現在までに110名の研修生を受け入れ、37名が現在も作業班や組合職員として活躍しています（付表 22 参照）。

また、平成29年度からは「緑の雇用」を補完する「現場技能者育成推進対策事業補助金」を設け、安定的な研修生の確保や定着率を向上させる支援を行いました。

**森づくり団地化推進員**

森づくりの団地化を推進する人材を育成するとともに、地域の雇用創出を目的として、平成21年度から豊田森林組合が臨時的に雇用する「森づくり団地化推進員」（緑のコーディネーター）に対して人件費の一部を補助しており、当年度は8名、17,974千円を補助しました（付表 23 参照）。

**市における専門職員の配置**

森林・林業に関する専門教育を受けた職員は、令和元年度に１名採用し、計２名在籍しています。

**森林組合職員の出向受入れ**

豊田森林組合が市の業務内容を理解し、市と組合との業務を円滑に進めていくことを目的として、森林組合職員１名が１年間の任期付き職員として市に出向し、その業務の一部を担いました。

### ④ その他（林業事業体の安定経営や人材の待遇改善）

第３次森林組合中期経営計画に沿って、森林作業員の雇用体制の整備、林産事業の強化、事業地の確保等についての検討を支援しました。中期経営計画推進委員会は、4～３月で計９回開催されました。

## II そのほかの主要な施策

### 1 各施策の実施状況

### （1） 森林情報の管理に関する施策

#### ① 森林情報の現状

現在、森林の現況や境界を把握するデータとしては、県作成の森林計画図と森林簿や法務局備え付けの地籍図が主となりますが、現況との乖離が大きいです。そこで、団地化業務によって新たに得られる境界や森の現況（カルテ）のデータなどを効率的に管理するために、市では平成19年度に豊田市独自の森林 GIS を導入し、豊田市版の森林計画図や森林簿として管理を行っています。

#### ② 豊田市森林ＧＩＳ保守・運用業務

システムの定期点検を行うとともに、基本データである森林計画図、森林簿、市地番図及びオルソ画像等を最新のデータに更新しました。また、当年度に新規又は変更のあった地域森づくり会議や森づくり団地、水道水源特別区域森づくり事業地、林地台帳、及び新規に開設した林道のデータを整備しました（付表 24 参照）。

### （2） 木材以外の森林資源の活用に関する施策

#### ① 特用林産物の生産の振興

山間地域の活性化と特用林産物の振興を図るため、小原地区のウルシ造林地３箇所（0.69ha）に対し、施肥等による保育を実施しました。

### （3） 森林普及事業に関する施策

#### ① とよた森林学校の実績

講座内容は市が企画し、運営は豊田森林組合に委託しています。当年度は11講座延べ29日を実施するとともに、事務局が自主的に企画・運営するフォローアップ研修を３回開催しました。さらに、小学校等からの依頼に基づき、森林課職員が講師を務める出前講座を４回開催しました。

**〈事務局･スタッフの体制〉**

| | |
|---|---|
| 校長 | 蔵治 光一郎 （東京大学大学院教授（令和元年度時点）） ※外部から選任 |
| 副校長 | 鈴木 誠美 （豊田森林組合代表理事組合長） |
| 事務局長 | 青山 正博 （豊田森林組合専務理事） |
| 事務局 | 成瀬 秀仁、高齊 麻衣、小澤 秀年（豊田森林組合職員：３名） |
| | 山本 薫久、西川 早人、恵比根 美明、長谷川 貢、高部 ほなみ<br>（ＮＰＯ法人都市と農山村の交流スローライフセンター） |

**人材育成コース（森林活動に関わる人材の育成）**

間伐を実施する人材や、森林自然観察会で指導する人材の育成を目的として、次の４講座を開催しました。また、間伐ボランティア初級講座の修了生で構成されるボランティア団体が毎年１団体ずつ組織され、現在14団体が活動しています。

**〈人材育成コース概要〉**　（単位：日･人）

| 講座名 | 開催講座日数 | 受講者数 |
|---|---|---|
| 楽しい山づくり入門講座 | 5 | 7 |
| 森林観察リーダー入門講座 | 5 | 13 |
| 間伐ボランティア初級講座 | 3 | 16 |
| 山主自力間伐講座 | 2 | 11 |
| 計 | 15 | 47 |

注１　付表 25 参照

**森の応援団コース（森の応援団の育成）**

一人でも多くの市民の方々に、森林の現状や課題、森林の楽しみ方などについて関心を持っていただくことを目的として、次の7講座を開催しました。

**〈森の応援団コースの概要〉**　（単位：日･人）

| 講座名 | 開催講座日数 | 受講者数 |
|---|---|---|
| 森林セミナー | 3 | 38 |
| 矢作川源流の森ウォーキング | 2 | 21 |
| 夏休み昆虫観察会 | 2 | 19 |
| 森と人の文化史 | 2 | 21 |
| 森林の樹木調べ(入門コース) | 2 | 17 |
| 森づくりの日は森林ウォーキング | 1 | 17 |
| 森林と災害 | 2 | 19 |
| 計 | 14 | 152 |

注１　付表 26 参照

**出前講座の開催**

当年度は、市内の小学校を中心として、森林の働きや間伐の効果などについての講座を、森林課職員が講師を務め、３団体、延べ４回開催しました。

**〈出前講座の開催概要（令和元年度）〉**　(単位：回･人)

| 申込み団体数 | 年間延べ開催数 | 延べ参加者数 | 派遣職員延べ人数 | 内　容　等 |
|---|---|---|---|---|
| 3 | 4 | 320 | 4 | 森林の働き、間伐の効果などの基礎講座 |

注１　付表 27 参照

**② 森林普及事業の拡大に向けた施策**

豊田市の森林普及事業の柱である「とよた森林学校」は令和元年度で14周年を迎えるなか、近年の社会情勢の変化により市民ニーズは多様化してきており、今後の森林普及事業について検討する時機にきていることから、以下の施策を実施しました。

**「とよた森林学校」の実績の整理**

事業開始の平成18年度から令和元年度に至るまでの各講座の参加者情報（参加者数、年齢層、初参加率、講座を知った媒体等）を洗い出し、各数値がどのように推移してきたか整理しました。

その結果、多くのリピーターがあり倍率が高い講座もあるなど、受講者から一定の支持があることが分かりました。一方で、市民に森林について広く普及する点においては、初回参加者を増やすなどの課題があり、今後対策が必要になっていきます。

**森林普及若手検討会の開催**

豊田市の森林普及事業を広い視野で検討するため、市内や近隣において森林普及事業に取り組む若手メンバーによる検討会を計３回実施しました。森林課が事務局を務めて、トヨタの森、自然観察の森、豊田森林組合に所属する職員や地域暮らし実践者ら計５名からなる検討会です。

検討会では、20代～40代の若年層の参加率や初回参加者率が課題として取り上げられ、講座のテーマに森林と異なる要素（写真、食、子ども等）を組み合わせる必要性など、今後の普及活動に求められる要素について議論しました。

| 森林普及<br>若手検討会 | 開催日 | 場　所 | 活動内容 |
|---|---|---|---|
| 第1回 | ７月２日　（水） | 豊田市役所足助支所会議室 | 意見交換会 |
| 第2回 | ８月30日　（金） | トヨタ白川郷自然學校 | 先進地視察及び意見交換会 |
| 第3回 | 10月29日　（火） | トヨタの森　里山学習館 | 先進地視察及び意見交換会 |

## （４）　山村地域の活性化と文化の伝承に関する施策

とよた森林学校の森の応援団コースにおいて、豊田市の林業の歴史及び森林と人との関わり方をテーマとした「森と人の文化史」講座を開催しています（p.14）。令和元年度は、豊田市の里山、民家の変遷をテーマに講座を開催し、市民の方々と木のある暮らしについて考えました。

## （５）　ＮＰＯ・森林ボランティア等との共働による森づくりに関する施策

豊田市を中心とした矢作川流域は、人工林での活動を主とした森林ボランティアの活動が盛んな地域です。豊田市は、こうした森林ボランティアや NPO、さらに流域に生産拠点を有する企業などと連携を深めて、相互理解のもとに、共働による森づくりを推進しています。

### ①　森林ボランティア活動の支援

市内の人工林を活動場所としている森林ボランティアのうち、補助金申請を行っている団体は12団体あります。今後さらに、とよた森林学校の修了生などから構成されたグループが新たに結成されることも期待されます。市としては、森林ボランティアが自立の精神を持って活動できるように以下の支援をしました。

**森林ボランティア始動支援補助事業**

森林ボランティアグループが活動を始めるに当たっては、いろいろな活動用具などの整備が必要となります。平成17年度より、そうした団体に対して初動の２年間に限り助成を行っており、当年度は２団体（構成員数24名）に150千円の補助金を交付しました（付表 28参照）。

**森林ボランティア安全対策補助事業**

活動に伴う傷害保険の加入を促進するため、平成18年度よりボランティア保険料の1/2以内を

補助しています。当年度は12団体（構成員数171名）に498千円を交付しました（付表 29参照）。

**実習地としての市有林の提供**

市有林の中から、市民等で構成されるグループが計画的に間伐や自然観察などの森林活動を実施する場を提供することを目的として、平成20年度に大洞市有林（64ha）を「森林活動の森・大洞」、平成22年度に木瀬市有林（1.8ha）を「森林活動の森・木瀬」に指定しています。

**② 企業・団体の森づくり活動に対する支援**

**企業等と共働した森づくり**

近年、市内外の企業が市内に森づくり活動の場を求める事例がいくつか見られます。例えば、系列会社が所有する山林で各種の森林活動をイベントとして開催する事例、市有林を利用して間伐活動を行う事例などがあります。今後もこのような要望は増加すると考えられることから、「森林活動の森・大洞」及び「森林活動の森・木瀬」を始めとした市有林の活用と森林学校の出前講座を中心として対応していきます。

**③ とよた森づくりの日ととよた森づくり月間における普及啓発活動**

市は、条例第16条第２項において10月を「とよた森づくり月間」とし、とくに10月26日を「とよた森づくりの日」と定めました。森づくりに関する普及啓発は、とよた森林学校や日常の活動等でも行っており、次のとおり各種行事を実施しました。

**森づくり月間に実施した普及啓発**

ア　本庁（東庁舎）ロビーに市の森づくりに関するパネルを展示

イ　旧町村支所に森づくり月間をＰＲする横断幕やのぼり旗等を設置

## （６） 事業評価に関する施策

第３次計画の中で、間伐実施、間伐手法、及び林業用路網整備に関してモニタリングを実施することを定めています。

**① モニタリング**

**間伐モニタリング調査**

公益的機能が高い人工林づくりを目指して、過密人工林に対して間伐推進を施策の柱にしています。しかし、間伐前後の下層植生の経時的な再生や樹木の成長のプロセス、また間伐率の違いや施業法の違いによる結果についてはデータが乏しく、経験的推論となるため、第３次計画の中で間伐効果についてのモニタリング調査の実施を定めています。そのため、平成20年度より３年間で75箇所の調査地を設定し、間伐後３年毎に植生調査と林分調査を実施し、その変化を調べています。

12年目にあたる令和元年度は、平成22年度に設定した調査地25箇所について、植生調査及び林分調査を実施しました。これらの調査地は、平成21、22年度に間伐を実施した箇所とその対照区で、間伐後の調査としては３回目になります。

令和元年度の結果を見ると、前回調査（平成28年度）と比べ、草本層（高さ１m以下）の種数は減少しました。間伐直後は、林冠が空いて光が入るようになるため草本層の植被率や種数は増

加しますが、間伐３年後あたりから林内が暗くなってきたことと考えられます。その理由の第１は残存する主林木の横枝が伸びてきて空間の一部を埋めてきたこと、第２に間伐効果で亜高木や低木が成長したため地際がさらに暗くなったことと推察されます。亜高木や低木の成長が確認できたことは、間伐により高木―亜高木―低木―草本という森林の階層構造が形成されつつあると言えます。今後は、２回目の間伐を実施する調査地を設定し、対照区、１回目間伐区、及び２回目間伐区との間で間伐効果を比較し、検証していきます。

なお、平成28年度に開催した間伐モニタリング検討会の提言を受け、針広混交林化の実現可能性を検証するため、平成29年度からは亜高木層と低木層の樹高調査を始めました。更新樹種の中で、将来に高木層や亜高木層を占める樹種を対象に、樹高を定期的に計測することで更新木の成長具合を把握し、針広混交林化の誘導方法の確立に活用します。

**〈モニタリング調査計画〉**

| 設定年度 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R１ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H20 | ○<br>伐採前 | | | ○<br>1回目 | | | ○<br>2回目 | | | ○<br>3回目 | | |
| H21 | | ○<br>伐採前 | | | ○<br>1回目 | | | ○<br>2回目 | | | ○<br>3回目 | |
| H22 | | | ○<br>伐採前 | | | ○<br>1回目 | | | ○<br>2回目 | | | ○<br>3回目 |

**〈間伐モニタリング調査地の設置状況〉**　（単位：箇所）

| 年度 | 間伐 | | | | | | | | 皆伐 | | 対照区（放置） | | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 切置き | | | | | 巻枯らし | | 列状 | | | | | | |
| | 20％ | 30～33％ | 40％ | 50％ | 60～70％ | 40％ | 55～66％ | 2残1伐 | 小面積 | その他 | 人工林 | 天然林 | その他 | |
| H20 | 2 | 2 | 7 | 2 | 2 | 5 | 1 | 2 | – | – | 2 | – | – | 25 |
| H21 | 2 | 3 | 3 | 3 | – | 1 | 2 | 3 | – | 2 | 4 | 1 | 1 | 25 |
| H22 | 1 | 3 | 6 | – | 1 | 1 | – | – | 1 | 4 | 6 | 2 | – | 25 |
| 計 | 5 | 8 | 16 | 5 | 3 | 7 | 3 | 5 | 1 | 6 | 12 | 3 | 1 | 75 |

**水源かん養機能モニタリング**

洪水や渇水などの水をめぐる問題は市にとって最重要課題の一つであり、この解決のために森林の果たす役割が注目されています。一方で、間伐や皆伐などの施業が森林の水の動きにどの程度の影響を与えるかについては十分に解明されていません。そこで市は、森林で行われる間伐等の森林施業の実施効果を検証するため、市内に試験地を設置し、東京大学大学院農学生命科学研究科と協力して、間伐前後の水量や水質の変化を把握する調査を平成27年度から開始しました。

当年度は昨年と同様に施業前のデータとして、気象、流量、樹冠遮断量、表面流出量、土砂流出量、及び渓流水の水質等について観測を行いました。なお、令和2年１～3月にかけて、大洞市有林の間伐流域（A-1）において伐採率40%の間伐を実施しました。

**〈調査内容〉**

| 調 査 地 | 試 験 流 域 | 観 測 項 目 |
|---|---|---|
| 大洞市有林（小原地区） | 間伐流域（A-1）<br>対照流域（A-2） | ①気象、②流量、③樹冠遮断量、④表面流量、<br>⑤土砂流出量、⑥水質 |
| 御内市有林（足助地区） | 利用間伐流域（M-1）<br>切置き間伐流域（M-2）<br>皆伐流域（M-3）<br>対照流域（M-4） | ①気象、②流量、③土砂流出量、⑥水質 |

**〈観測結果〉**

| 観測項目 | 結果 |
|---|---|
| ① 気象 | ・年降水量は大洞2,080mm と御内2,090mm で、市街地の豊田アメダス1,663mm と比較して大幅に多い結果となった。<br>・月の平均湿度は、大洞・御内ともに70～95%の範囲で高い値となった。 |
| ② 流量 | ・年間の流出量から年降雨量を除した流出率は40～75%とバラつきがあった。 |
| ③ 樹冠遮断量 | ・大洞では、降水量と樹幹流量、林内降雨量を計測し算出している。<br>・年間の積算データでは、樹冠遮断率9%、樹幹流下率19%、林内雨量率72%になった。 |
| ④ 表面流量 | ・H30に実施した２つの間伐実施地と対照区（間伐未実施）を比較すると、切置き間伐により表面流量は大幅に減少する結果になった。 |
| ⑤ 土砂流出量 | ・年間の土砂流出量は経時的に減少している。<br>・大きな降雨イベントの際に、まとまった量の土砂が流出している。 |
| ⑥ 水質 | ・降水の水質はカリウムイオン濃度を除き大洞と御内とで明瞭な違いは見られなかった。 |

**〈樹幹流量の観測〉**

**〈量水堰内の砂出し作業における堆積土砂量の計測〉**

## （７） その他の施策

### ① 市有林の活用

森林課の所管する市有林は市内全域に分散していますが、その合計面積は約1,248ha とまとまった規模を持っています。市有林では、間伐による下層植生の回復状況などのモニタリング調査や、新たな作業システムの効果試験等のトライアル事業、森林ボランティアグループの活動の場など、私有林では実施が難しい事業について活用しました（p.16）。

### ② 市町村の広域連携に関する施策

市町村が抱える森林行政に関する課題等についての意見交換を行い、課題解決に向けた方向性を議論するとともに、広域森林市町村同士で共通認識とネットワークを広げることを目的に、平成26年度より、「近畿・東海・北陸市町村森林フォーラム」を開催しています。当年度は岐阜県

高山市において開催されました（付表 30 参照）。

### ③ 森林環境譲与税を活用した取組

令和元年度から譲与された森林環境譲与税を活用し、以下の取組を行うことで森林整備の推進等を図りました。

**〈森林環境譲与税を活用した取組（令和元年度）〉**　（単位：円）

| 事業名 | 事業内容 | 実　績 | 事業費 | うち森林環境譲与税充当額 |
|---|---|---|---|---|
| 間伐促進費補助金（切置き分） | 私有林の切置き間伐（伐採率 40%）等を実施する豊田森林組合に対する市単独補助 | 切置き間伐 88.94ha | 32,053,319 | 32,000,000 |
| 森づくり推進組織育成費交付金 | 豊田市独自の森づくり団地化のための交付金 | 森づくり団地面積 1,062.28ha | 21,245,600 | 16,983,000 |
| 森林環境教育・啓発費 | 森林に関する啓発事業として「とよた森林学校」を実施 | 11 講座、29 回開催 199 人参加 | 15,233,180 | 4,000,000 |
| 管理備品整備費（小学校） | 小学校における地域材の机・椅子の導入 | 机　1,418 台<br>椅子 1,509 脚 | 19,740,842 | 4,400,000 |
| 管理備品整備費（中学校） | 中学校における地域材の机・椅子の導入 | 机　1,136 台<br>椅子　956 脚 | 14,401,728 | 3,600,000 |
| 計 | | | 102,674,669 | 60,983,000 |

# III　森づくり構想及び森づくり基本計画等に関する業務

## 1 「とよた森づくり委員会」の開催

「とよた森づくり委員会」（以下「森づくり委員会」）は、森づくり構想や森づくり基本計画等について協議する委員会として、平成17年度に発足し、平成19年度には森づくり条例に位置づけられました。発足から令和元年度で14年目になります。当年度は委員の改選期にあたり、令和元年７月16日で任期満了に伴い、委員を以下のとおり改選しました。

森林の開発事案や、豊田市森林保全ガイドライン等に関することを主な検討課題としました。

なお、委員会の資料・会議録は、市のウェブページに掲載しています。

**〈委員会名簿･委員（12名）/オブザーバー（2名）【任期 R1.７.17～R３.７.16】〉**

| 役 職 | 氏　　名 | 所　　属　　等 |
|---|---|---|
| 会 長 | 片桐　正博 | 森づくり会議森林所有者･元愛知県副知事 |
| 副会長 | 鈴木　誠美 | 豊田森林組合　代表理事組合長 |
| 委 員 | 蔵治　光一郎 | 東京大学大学院農学生命科学研究科附属<br>演習林企画部　企画部長･教授 |
| | 横井　秀一 | 岐阜県立森林文化アカデミー　教授 |
| | 岡本　透 | （国研）森林総合研究所関西支所　グループ長 |
| | 鈴木　禎一 | 八幡製材 |
| | 鈴木　政雄 | 森づくり会議森林所有者･専業林家 |
| | 國友　淳子 | トヨタ自動車（株）社会貢献推進部 |
| | 水嶋　淳 | 水嶋建設（株）　代表取締役社長 |
| | 鈴木　辰吉 | （一社）おいでん･さんそん 代表理事 |
| | 永井　初美 | 公募委員 |
| | 藤富　勝行 | 公募委員 |
| オブザーバー | 成瀬　和也 | 愛知県豊田加茂農林水産事務所　林務課長 |
| | 青山　正博 | 豊田森林組合　専務理事 |

注１　正副会長以下委員は五十音順に掲載。

**〈委員会･作業部会の開催状況（令和元年度）〉**

| 委員会 | 開催日 | 場　所 | 協　議　事　項 |
|---|---|---|---|
| 第１回<br>森づくり委員会 | 7月11日 | 豊田市役所<br>東庁舎4階 | ･平成30年度間伐実績<br>･令和元年度予算概要<br>･森林の開発事案について |
| 第２回<br>森づくり委員会 | 1月22日 | 豊田市役所<br>職員会館 | ･合併後の豊田市森林施策の概要<br>･豊田市森林保全ガイドラインについて |

# 第２章　施策以外の業務

## Ⅰ　管理業務

### １ 森林法に係る各種業務

#### （１） 伐採及び伐採後の造林の届出書の受理

森林法第10条の８第１項の規定に基づく届出書及び同法第15条に基づき、届出書として、主伐は264件、70ha、間伐は139件、574ha を受理しました。また、主伐のうち転用は69件、12ha でした。

**〈伐採及び伐採後の造林の届出の件数と面積〉**

（単位：件･ha）

| 項　目 | 件数 | 面積 |
|---|---|---|
| 主　伐 | 264 | 69.90 |
| うち転用 | 69 | 12.49 |
| 間　伐 | 139 | 573.90 |

注１　付表 31 参照

#### （２） 森林の土地の所有者届の受理

森林の土地の所有者届※は売買によるものが36件、27ha、その他によるものが106件、133ha となりました。

※H24年から民有林の所有者になった者は、市町村長に届け出ることになりました(森林法第10条の7の2第1項)。なお、国土利用計画法第23条第1項の規定に基づく届出をした者は、届出義務を免除されています (森林法第191条の２)。

**〈森林の土地の所有者届の件数と面積〉**

（単位：件･ha）

| 項　目 | 件数 | 面積 |
|---|---|---|
| 売　買 | 36 | 26.89 |
| その他 | 106 | 132.98 |

注１　付表 32 参照

### ２ 森林課所管土地・建物の管理

#### （１） 豊田市森林会館の管理

森林課が所管する豊田市森林会館の研修室等の利用実績として、37件、1,104人となりました（付表 33 参照）。また、敷地内に自動販売機を設置することで、サービスの向上に努めました。

#### （２） 市有林の管理

森林課が所管する市有林1,248ha について、平成17年度から平成18年度の２年間で、豊田森林組合に委託して「市有林長期森づくり計画」を策定しました。さらに平成17年度から平成21年度にかけて市有林の「森のカルテ」を順次作成し、その森林現状を把握するとともに、間伐等森林施業を進めてきました。また、平成18年度より「市有林界確定測量」も順次実施しています。

**市有林間伐実績**

前年度に引き続き、伊勢神市有林の間伐8ha を行い、715m$^3$の材を搬出し、搬出路1,756m を開設しました。

**〈市有林別の間伐施業実績（令和元年度）〉**　（単位：ha･㎥･千円）

| 市有林 | 間伐区分 | 施業面積 | 事業費 | | 素材生産 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | うち国･県補助金 | 搬出量 | 販売額 | |
| 伊勢神 | 利用 | 6.94 | 11,434 | － | 714.901 | 9,297 | |
| | 切置き | 1.06 | 365 | － | － | － | |
| 計 | | 8.00 | 11,800 | | | | |

注１　付表 34、付表 35 参照

**市有林界確定測量業務**

藤岡地区の西市野々市有林において、境界確定測量を行いました。

**〈市有林界確定測量業務（令和元年度）〉** (単位：㎡･千円)

| 市有林名 | 台帳面積 | 実測面積 | 立会件数 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|
| 西市野々 | 63,175 | 63,558 | 13 | 4,935 |

注１　付表 36 参照

## （３） 林道維持管理

市が管理する林道における崩土撤去などの修繕を次のとおり実施しました。当年度は多くの林道が被災したため、例年に比べ修繕箇所が増加しました。

### ① 修繕の状況

**〈市管理林道の修繕（令和元年度）〉** (単位：路線･箇所･千円)

| 修繕路線数 | 延べ修箇所 | 事業費 | 主な修繕内容 |
|---|---|---|---|
| 73 | 76 | 59,681 | 崩土撤去10件　路肩修繕23件　法面補修15件<br>路面補修28件　排水施設16件　安全施設5件<br>倒木撤去　9件 |

注１　付表 37 参照

### ② 林道パトロール

平成19年度から、市内の林道の状況を把握することを目的として、通行の安全確保と簡易な修繕を行うために林道パトロールを開始しました。当年度は６名の森林管理補助員（林道パトロール員）が在籍し、林道パトロール班２名と維持修繕作業班４名の２班体制を基本として市内約438km の林道を巡回しました。

## II 広報業務

### 1 講演、視察受入等の森づくり推進活動

豊田市森林課は、条例・構想・基本計画を策定したことや、多くの独自施策も実施していることから、各方面より講演依頼や視察受入れの依頼がありました。

**〈講演等の概要（令和元年度）〉**

| 日 付 | 主催･イベント等名称 | テーマ | 参加者 |
|---|---|---|---|
| 7月20日（金） | 「森林未来会議～森を活かす仕組みをつくる」出版記念シンポジウム | パネルディスカッション（これからの日本の森林管理） | 200 |
| 9月25日（水） | 令和元年度「林業塾2019」（速水林業） | 市町村の森林行政の現状と施策推進のポイント | 30 |
| 11月12日（火） | 長野県林業普及指導員全体研修 | 市町村の森林行政の現状と普及指導員への期待 | 54 |

**〈視察の受入れの概要（令和元年度）〉**

| 日 付 | 視察団体 |
|---|---|
| 5月16日（木） | グルノーブルアルプ大学（フランス共和国イゼール県） |
| 6月21日（金） | 岡崎市（愛知県） |
| 7月3日（水）～4日（木） | 田辺市（和歌山県） |
| 7月5日（金） | 小川村森林のクラブ（長野県） |
| 7月25日（木） | 岡崎市議会（愛知県） |

| 日 付 | 視察団体 |
|---|---|
| 10月21日（月） | 上北山村（奈良県） |
| 10月25日（金） | A-WASS 木と建築で創造する共生社会実践研究会（東京都） |
| 11月7日（木）～8日（金） | 高山市美しい森づくり実行委員会（岐阜県） |
| 12月12日（木） | 恩賜林組合（山梨県） |
| 2月27日（木） | 十津川村（奈良県） |

**〈印刷物等の概要（令和元年度）〉**

| 印刷物等の名称 | タイトル等 | 発行者 |
|---|---|---|
| 一般書籍 | 森林未来会議 | 築地書館 |

**〈テレビ番組等の放映の概要（令和元年度）〉**

| 放映日 | 番組タイトル | 放映概要 |
|---|---|---|
| なし | | |

**〈関連行事の概要（令和元年度）〉**

| 関 連 行 事 等 | 延べ回数 | 内 容 |
|---|---|---|
| 市内中学校職場体験 | 1回 | 豊田市の森の現場 |
| 矢作川水源基金交流事業 | 1回 | 森林講話と間伐指導 |

# 第3章　決　算

**歳入**

| 項　目 | R1 | H30 | 差 |
|---|---|---|---|
| (1)　森林環境譲与税 | 60,983 | - | 60,983 |
| (2)　林業費負担金 | 1,855 | 631 | 1,224 |
| (3)　林業使用料 | 337 | 571 | △ 234 |
| (4)　林業費補助金 | 189,587 | 127,442 | 62,145 |
| (5)　林業費委託金 | 74,567 | 42,063 | 32,504 |
| (6)　土地建物貸付収入 | 13,149 | 11,609 | 1,540 |
| (7)　利子及び配当金 | 1,675 | 1,596 | 79 |
| (8)　生産物売払収入 | 9,508 | 14,217 | △ 4,709 |
| (9)　基金繰入金 | 30,000 | 65,000 | △ 35,000 |
| (10)　雑　入 | 28,799 | 28,473 | 326 |
| 計 | 410,460 | 291,602 | 118,858 |

**歳出**

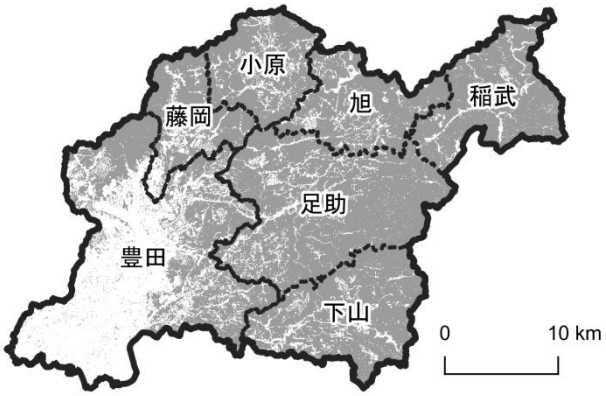
| 項　目 | R1 | H30 | 差 |
|---|---|---|---|
| (1)　林業振興事務費 | 19,064 | 9,984 | 9,080 |
| (2)　市有林管理費 | 25,579 | 26,322 | △ 743 |
| (3)　林業労働力対策費 | 17,974 | 17,769 | 205 |
| (4)　矢作川水源林対策費 | 62,749 | 43,771 | 18,978 |
| (5)　森林会館費 | 12,222 | 2,617 | 9,605 |
| (6)　林道開設費 | 91,274 | 45,363 | 45,911 |
| (7)　林道舗装費 | 93,530 | 93,207 | 323 |
| (8)　林道改良費 | 102,938 | 54,861 | 48,077 |
| (9)　林道修繕費 | 38,869 | 20,403 | 18,466 |
| (10)　林業振興費 | 405 | 2,715 | △ 2,310 |
| (11)　水源環境林整備費 | 6,414 | 5,008 | 1,406 |
| (12)　森林整備市民活動費 | 648 | 694 | △ 46 |
| (13)　間伐材搬出利用促進費 | 43,613 | 224,561 | △ 180,948 |
| (14)　間伐促進事業費 | 33,695 | 78,094 | △ 44,399 |
| (15)　高性能林業機械施業促進費 | 1,406 | 22,370 | △ 20,964 |
| (16)　森づくり推進費 | 37,552 | 38,818 | △ 1,266 |
| (17)　とよた森林学校費 | 15,233 | 17,097 | △ 1,864 |
| (18)　林道維持管理費 | 7,201 | 6,926 | 275 |
| (19)　人件費 | 203 | 12,871 | △ 12,668 |
| (20)　林道整備調査費 | 3,719 | 605 | 3,114 |
| (21)　あいち森と緑づくり事業等推進費 | 47,315 | 26,669 | 20,646 |
| (22)　過疎山村地域代行林道費 | 1,848 | 2,865 | △ 1,017 |
| (23)　林道橋りょう維持管理費 | 20,062 | 8,729 | 11,333 |
| (24)　地域材利用拡大推進費 | 5,524 | 12,934 | △ 7,410 |
| (25)　林道施設現年災害復旧事業費 | 12,718 | 48,734 | △ 36,016 |
| (26)　林業施設過年災害復旧事業費 | 7,682 | - | 7,682 |
| (27)　水道水源保全費 | 61,504 | 47,806 | 13,698 |
| 計 | 770,941 | 871,793 | △ 100,852 |

# 参　考

## Ⅰ　豊田市における森林・林業の現況

### 1　豊田市の森林の現状（令和元年度）

**〈豊田市の森林位置図〉**

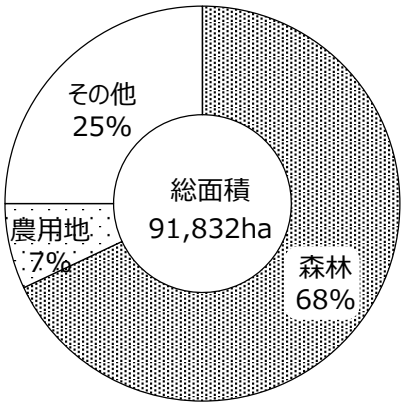



**〈豊田市の土地利用別面積〉**（単位：ha）

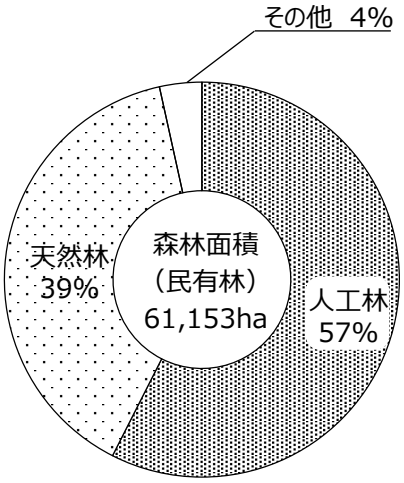
| 区　分 | | 面積 |
|---|---|---|
| 区　域 | | 91,832 |
| 森　林 | 総　数 | 62,426 |
| | 国有林 | 1,243 |
| | 民有林 | 61,183 |
| 農用地 | | 6,340 |
| その他 | | 23,066 |

資料：愛知県林務課

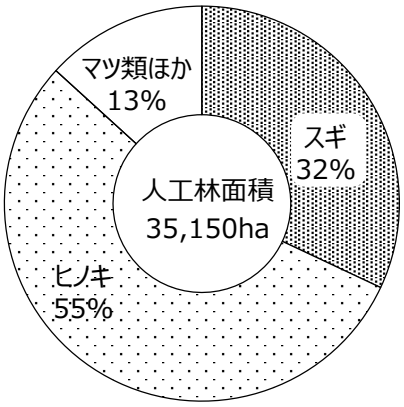
**〈豊田市の森林率〉**




**〈豊田市の人工林率（民有林）〉**




**〈人工林の樹種別割合〉**




注１　豊田市の人工林率、樹種別割合は国有林を除いた。

資料：愛知県林務課

**〈豊田市の地域毎の森林率と人工林率〉**　（単位：ha・%）

| | 区域面積 A | 森林面積 B | 森林率 B/A×100 | 森林のうち人工林 C | 人工林率 C/B×100 |
|---|---|---|---|---|---|
| 豊 田 市 | 91,832 | 62,426 | 68 | – | – |
| うち民有林 | – | 61,182 | – | – | – |
| うち地域森林計画対象民有林 | – | 61,153 | – | 35,150 | 57 |
| 豊田 | 29,011 | 9,807 | 34 | 2,750 | 28 |
| 藤岡 | 6,558 | 4,669 | 71 | 1,677 | 36 |
| 小原 | 7,454 | 5,519 | 74 | 2,426 | 44 |
| 足助 | 19,312 | 16,240 | 84 | 9,884 | 61 |
| 下山 | 11,418 | 9,681 | 85 | 7,116 | 74 |
| 旭 | 8,216 | 6,688 | 81 | 4,648 | 69 |
| 稲武 | 9,863 | 8,549 | 87 | 6,649 | 78 |

資料：県林務課

**〈豊田市の地域森林計画対象民有林における林種別面積及び蓄積〉**　（単位: ha・$m^3$・$m^3$/年）

| | | 面積 | 蓄積 | 成長量 |
|---|---|---|---|---|
| 立木地 | 人工林 | 35,150 | 10,372,965 | 124,283 |
| | 天然林 | 23,890 | 3,150,071 | 13,946 |
| 竹林 | | 1,144 | | |
| 無立木地 | | 972 | | |
| 計 | | 61,153 | 13,523,036 | 138,229 |

資料：県林務課

**〈豊田市の人工林の林種別面積及び蓄積〉**　（単位: ha・$m^3$・$m^3$/年）

| | | 面積 | 蓄積 | 成長量 |
|---|---|---|---|---|
| 針葉樹 | スギ | 11,244 | 4,824,542 | 54,716 |
| | ヒノキ | 19,252 | 4,641,233 | 62,181 |
| | マツ類 | 4,426 | 871,265 | 6,987 |
| | その他 | 86 | 21,041 | 257 |
| 広葉樹 | | 143 | 14,884 | 142 |
| 計 | | 35,150 | 10,372,965 | 124,283 |

資料：県林務課

## 2 木材価格の変化と木材生産量

**〈豊田市内木材生産量〉**　（単位：$m^3$）

| 年 | 市内木材生産量 | うち豊田森林組合の取扱量 | うち利用間伐の取扱量 |
|---|---|---|---|
| H17 | 23,700 | 13,811 | 11,049 |
| H18 | 24,300 | 14,689 | 8,000 |
| H19 | 23,218 | 16,495 | 12,899 |
| H20 | 28,900 | 17,660 | 14,035 |
| H21 | 29,400 | 18,553 | 14,535 |
| H22 | 33,390 | 18,969 | 16,121 |
| H23 | 32,484 | 21,141 | 15,988 |
| H24 | 37,399 | 18,704 | 14,700 |
| H25 | 33,818 | 22,962 | 18,403 |
| H26 | 39,390 | 26,305 | 19,096 |
| H27 | 48,316 | 27,764 | 21,146 |
| H28 | 44,827 | 22,392 | 16,006 |
| H29 | 38,259 | 23,712 | 20,235 |
| H30 | 51,188 | 33,299 | 27,978 |
| R1 | 54,129 | 33,925 | 31,804 |

注１　市内木材生産量は年次数値、それ以外は年度数値　　資料：愛知県林務課及び豊田森林組合

**〈豊田原木流通センターの木材取扱量と平均単価〉**　（単位：$m^3$・円/$m^3$）

| 年度 | スギ | | ヒノキ | | スギ+ヒノキ+その他樹種 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 木材取扱量 | 平均単価 | 木材取扱量 | 平均単価 | 木材取扱量 | 平均単価 |
| H17 | 3,268 | 10,030 | 4,254 | 19,981 | 8,086 | 15,886 |
| H18 | 4,228 | 10,300 | 6,588 | 20,590 | 11,154 | 16,458 |
| H19 | 6,437 | 9,192 | 6,220 | 19,087 | 13,037 | 13,713 |
| H20 | 5,889 | 9,193 | 7,494 | 17,862 | 13,643 | 13,974 |
| H21 | 6,872 | 9,171 | 6,903 | 15,337 | 14,115 | 12,453 |
| H22 | 8,179 | 9,856 | 8,559 | 15,379 | 15,726 | 13,513 |
| H23 | 6,769 | 8,290 | 7,601 | 12,806 | 16,738 | 12,680 |
| H24 | 7,942 | 10,420 | 7,496 | 16,981 | 15,083 | 10,422 |
| H25 | 5,344 | 9,492 | 7,986 | 15,736 | 14,167 | 12,403 |
| H26 | 5,527 | 10,060 | 6,769 | 14,568 | 12,583 | 12,314 |
| H27 | 4,529 | 9,052 | 7,295 | 13,423 | 12,309 | 11,492 |
| H28 | 4,517 | 9,729 | 3,792 | 11,900 | 8,608 | 10,570 |
| H29 | 2,250 | 9,764 | 5,551 | 12,529 | 9,868 | 10,473 |
| H30 | 7,451 | 10,578 | 8,223 | 13,125 | 20,257 | 10,578 |
| R1 | 12,843 | 9,963 | 10,596 | 12,203 | 30,475 | 9,807 |

資料：愛知県森林組合連合会

## 3 森づくりの担い手「豊田森林組合」の現状

### （1） 組　織

**〈組合員の状況〉**　（単位：人）

| 年度 | 正組合員 | 准組合員 | 計 |
|---|---|---|---|
| H17 | 8,623 | 6 | 8,629 |
| H18 | 8,618 | 6 | 8,624 |
| H19 | 8,620 | 6 | 8,626 |
| H20 | 8,623 | 6 | 8,629 |
| H21 | 8,614 | 6 | 8,620 |
| H22 | 8,555 | 6 | 8,561 |
| H23 | 8,545 | 8 | 8,553 |
| H24 | 8,539 | 8 | 8,547 |
| H25 | 8,536 | 8 | 8,544 |
| H26 | 8,526 | 8 | 8,534 |
| H27 | 8,494 | 8 | 8,502 |
| H28 | 8,463 | 8 | 8,471 |
| H29 | 8,445 | 8 | 8,453 |
| H30 | 8,415 | 8 | 8,423 |
| R1 | 8,392 | 13 | 8,405 |

**〈常勤の役職員数〉**　（単位：人）

| 年度 | 常勤役員数 | 常勤職員数 |
|---|---|---|
| H17 | 2 | 52 |
| H18 | 2 | 52 |
| H19 | 2 | 51 |
| H20 | 2 | 48 |
| H21 | 1 | 50 |
| H22 | 1 | 50 |
| H23 | 1 | 51 |
| H24 | 1 | 51 |
| H25 | 1 | 46 |
| H26 | 1 | 49 |
| H27 | 2 | 51 |
| H28 | 2 | 52 |
| H29 | 2 | 50 |
| H30 | 2 | 45 |
| R1 | 2 | 44 |

資料：豊田森林組合第15回通常総代会資料

**〈豊田森林組合作業班員の年齢別構成表〉**　（単位：人）

| 年度 | ～29歳 | 30～39歳 | 40～59歳 | 60歳～ | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| H17 | 11 | 10 | 34 | 79 | 134 |
| H18 | 11 | 15 | 34 | 73 | 133 |
| H19 | 11 | 19 | 41 | 75 | 146 |
| H20 | 11 | 19 | 41 | 73 | 144 |
| H21 | 12 | 23 | 52 | 74 | 161 |
| H22 | 12 | 27 | 50 | 80 | 169 |
| H23 | 10 | 25 | 52 | 84 | 171 |
| H24 | 6 | 27 | 52 | 82 | 167 |
| H25 | 4 | 24 | 45 | 75 | 148 |
| H26 | 6 | 21 | 46 | 65 | 138 |
| H27 | 10 | 19 | 41 | 71 | 141 |
| H28 | 8 | 17 | 49 | 58 | 132 |
| H29 | 6 | 13 | 49 | 50 | 118 |
| H30 | 6 | 15 | 46 | 41 | 108 |
| R1 | 4 | 12 | 36 | 28 | 80 |

資料：豊田森林組合

## （２） 事業活動

**〈販売部門〉** (単位：$m^3$・kg・千円 (税抜))

| 項　目 | | 取扱量 | 売 上 | 項　目 | | 取扱量 | 売 上 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 販売事業 | 木 材 | 600 | 4,620 | 林産事業 | 受託林産 | 32,292 | 312,457 |
| | 菌 床 | － | － | | 買取林産 | 1,033 | 6,904 |
| | 乾燥シイタケ | 180 | 1,688 | | | | |

資料：豊田森林組合第15回通常総代会資料

**〈加工部門〉** (単位：千円(税抜))

| 項　目 | 取扱額 | 項　目 | 取扱額 | 項 目 | 取扱額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 加工製品 | 50,044 | チップ・オガコ | 1,086 | 工作物 | － |
| 杭ほか | 5,289 | 賃挽き | － | | |

資料：豊田森林組合第15回通常総代会資料

**〈森林整備部門〉** (単位：千円(税抜))

| 項　　目 | | 売　上 |
|---|---|---|
| 森林整備 | 森林整備・治山・林道等 | 473,335 |
| 利用事業 | 調査・とよた森林学校・森林整備支援交付金等 | 315,965 |
| 購買事業 | 苗木・肥料・チェーンソー等 | 48,795 |

資料：豊田森林組合第15回通常総代会資料

**〈とよた森林学校〉** (単位：千円)

| 項　　目 | 受　託　額 |
|---|---|
| とよた森林学校 | 15,900 |

## II 産業部森林課の組織と主な業務

**森　林　課**
（課　長（1人）
副課長（1人）
副主幹（1人））

- 森づくり・地域材担当
  （７人・うち１名は岐阜県立森林文化アカデミーに派遣中
  特別任用
  ２人・うち１名は豊田森林組合からの出向中）
  - 間伐促進に関すること
  - 森づくり会議と団地化に関すること
  - 間伐等森林整備及び補助金に関すること
  - 矢作川水源基金助成事業に関すること
  - あいち森と緑づくり事業に関すること
  - 水道水源保全基金事業に関すること
  - 森林ＧＩＳ管理に関すること
  - 森林経営計画の認定に関すること
  - 森林環境税に関すること
  - 市有林の施業に関すること
  - 木材利用促進に関すること
  - ウッディーラー豊田の支援に関すること
- 林務・構想推進担当
  （５人）
  - 森林課施設・財産管理に関すること
  - 課の予算・庶務に関すること
  - 伐採届・森林所有者変更届に関すること
  - 違法伐採の指導・観察に関すること
  - 治山事業に関すること
  - 森づくり月間イベントに関すること
  - 森林ボランティアの支援に関すること
  - 森林保全ガイドライン方針の策定に関すること
  - 市町村森林整備計画に関すること
  - 森林組合第3次中期経営計画に関すること
  - 森林文化アカデミー研修支援に関すること
  - 木材生産の低コスト化（作業システム改善）支援に関すること
  - とよた森林学校・出前講座に関すること
  - 高性能林業機械の補助に関すること
  - 各種モニタリングに関すること
- 林道担当
  （５人）
  森林管理補助
  特別任用
  （６人）
  - 林道の整備計画に関すること
  - 林道の開設・舗装・改良工事に関すること
  - 中核製材工場用地整備に関すること
  - 県代行林道整備事業に関すること
  - 林道の管理・修繕に関すること
  - 林道パトロールに関すること

# 付　表

**付表 1 間伐実施面積（事業別）**

| 区 分 | | | H17 | H18 | H19 | ←第１次計画期間→ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | 計 |
| 県事業 | 治山事業 | | 347 | 346 | 421 | 319 | 234 | 228 | 167 | 83 | 1,031 |
| | あいち森と緑づくり事業 | | | | | 5 | 205 | 416 | 436 | 506 | 1,568 |
| | 計 | | 347 | 346 | 421 | 324 | 439 | 644 | 603 | 589 | 2,599 |
| 市事業 | 間伐促進事業 | 非公共造林 市上乗せ有 | 418 | 449 | 403 | 431 | 456 | 266 | 113 | 127 | 1,393 |
| | | 市単独分 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | | 水道水源林分 | | | | | | | | | |
| | 矢作川水源基金 | | 109 | 215 | 216 | 197 | 218 | 157 | 163 | 139 | 874 |
| | 水源環境林 | | 64 | 110 | 76 | 97 | 99 | 33 | 30 | 24 | 283 |
| | 巻枯らし等補助事業 | | － | － | － | － | － | 6 | 6 | 2 | 14 |
| | 水道水源特別区域森づくり事業 | | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 計 | | 591 | 774 | 695 | 725 | 773 | 462 | 312 | 292 | 2,564 |
| その他（公共造林 市上乗せなし） | | | － | 10 | 8 | 6 | 34 | 21 | 24 | 91 | 176 |
| その他（ボランティアなど） | | | | | | | | | | | |
| 第３次基本計画対象間伐面積 | | | 938 | 1,130 | 1,124 | 1,055 | 1,246 | 1,127 | 939 | 971 | 5,339 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 計画対象外 | 市有林施業 | 34 | 20 | 35 | 108 | 100 | 56 | 75 | 65 | 404 |
| | 県分収林 | 254 | 151 | 106 | 87 | 108 | 179 | 322 | 44 | 740 |
| | 県有林 | 43 | 47 | 14 | 26 | 23 | 42 | 46 | 32 | 169 |
| | 計 | 331 | 218 | 155 | 221 | 231 | 277 | 443 | 141 | 1,313 |
| 市内間伐実績面積 | | 1,269 | 1,348 | 1,279 | 1,276 | 1,477 | 1,404 | 1,382 | 1,112 | 6,652 |

注１　間伐促進事業（国県事業 市上乗せ)は、造林事業の上乗せ補助分。（市単独）は、市一般会計で（水道水源林）は水道水源保全特別会計の市単独補助事業。

２　市有林事業に市外に所在する市有林（黒田湖畔段戸記念林及び学校部分林）の実績は含まない。

３　その他は、国県補助又は単独で実施した間伐で市の上乗せ等の補助を受けていないもの。ボランティアなど平成30年度集計から除外した。

（単位：ha）

| ←第２次計画期間→ | | | | | | ←第３次計画期間－ | | | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | 計 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | 計 | |
| 97 | 76 | 79 | 83 | 76 | 411 | 39 | 48 | | | | 88 | 2,644 |
| 581 | 391 | 356 | 431 | 408 | 2,167 | 414 | 299 | | | | 712 | 4,447 |
| 677 | 467 | 435 | 515 | 484 | 2,578 | 453 | 347 | | | | 800 | 7,091 |
| 80 | 119 | 91 | 118 | 108 | 516 | 51 | 36 | | | | 87 | 3,266 |
| 25 | 106 | 49 | 67 | 0 | 247 | 208 | 89 | | | | 297 | 543 |
| | | 100 | 75 | 86 | 261 | 86 | 79 | | | | 165 | 426 |
| 155 | 119 | 89 | 174 | 204 | 741 | 40 | 100 | | | | 140 | 2,295 |
| 20 | 20 | 20 | 19 | 12 | 91 | 10 | 12 | | | | 22 | 647 |
| – | – | – | – | – | – | – | – | | | | – | 14 |
| – | – | – | – | – | – | – | 22 | | | | 22 | 22 |
| 280 | 364 | 348 | 452 | 410 | 1,854 | 395 | 338 | | | | 733 | 7,211 |
| 14 | 10 | 10 | 13 | 75 | 122 | 112 | 136 | | | | 248 | 762 |
| 23 | 56 | 51 | 67 | (44) | 197 | (50) | (48) | | | | (98) | |
| 995 | 897 | 845 | 1,046 | 968 | 4,751 | 960 | 821 | | | | 1,782 | 15,064 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 39 | 31 | 15 | 1 | 1 | 87 | 14 | 8 | | | | 22 | 602 |
| 74 | 83 | 33 | 65 | 99 | 354 | 63 | 38 | | | | 101 | 1,706 |
| 30 | 45 | 20 | 20 | 31 | 146 | 32 | 32 | | | | 64 | 483 |
| 143 | 159 | 68 | 86 | 131 | 587 | 109 | 78 | | | | 187 | 2,791 |
| 1,138 | 1,056 | 913 | 1,132 | 1,099 | 5,338 | 1,069 | 900 | | | | 1,969 | 17,855 |

**付表 2 市間伐補助事業一覧表**

<table>
<tr><th>事業名</th><th>作業種</th><th>補助対象経費</th><th>間伐率</th><th>補助率</th></tr>
<tr><td rowspan="5">間伐促進事業<br>（非公共造林<br>市上乗せ有）<br>（市単独）<br>（水道水源林）</td><td rowspan="3">切置き<br>間伐</td><td rowspan="3">愛知県の森林造成等補助金交付要綱、造林事業実施要領及び小規模森林育成事業実施要領に準じて行う間伐実施に要する経費</td><td>30%以上</td><td>9/10以内</td></tr>
<tr><td>団地内40%以上</td><td rowspan="2">10/10以内</td></tr>
<tr><td>針広混交林誘導林<br>40%～60%</td></tr>
<tr><td>間伐材<br>生産</td><td>愛知県の定める林業振興対策事業補助金のうち次世代林業基盤づくり事業に基づき実施する間伐材生産に要する経費</td><td>団地内<br>20%以上</td><td>1/10以内</td></tr>
<tr><td>巻枯らし</td><td>巻枯らしに要する経費</td><td>針広混交林誘導林<br>40%～60%</td><td>10/10以内</td></tr>
<tr><td rowspan="6">矢作川水源林<br>対策事業</td><td rowspan="3">切置き<br>間伐</td><td rowspan="6">(公財)矢作川水源基金が定める水源林地域対策事業業務方法書及び水源林対策事業助成金交付要領に準じて行う間伐に要する経費</td><td>20%～30%</td><td>基金が定める補助率</td></tr>
<tr><td>30%以上</td><td>9/10以内</td></tr>
<tr><td>団地内40%以上</td><td>10/10以内</td></tr>
<tr><td rowspan="3">利用<br>間伐</td><td>20%～30%</td><td>基金が定める補助率</td></tr>
<tr><td>30%以上</td><td>4/10以内</td></tr>
<tr><td>団地内30%以上</td><td>5/10以内</td></tr>
</table>

**付表 3 森づくり会議・団地の設置状況（地区別・年度別）**　　(単位：箇所数・ha)

| 年度 | | 豊田 | 小原・藤岡 | 足助 | 下山 | 旭 | 稲武 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H19 | 会議数 | － | － | 1 | 9 | 4 | 1 | 15 |
| | 団地数 | － | － | － | － | － | － | － |
| | 面 積 | － | － | － | － | － | － | － |
| H20 | 会議数 | 2 | 2 | 11 | 7 | 3 | 2 | 27 |
| | 団地数 | 2 | 1 | 4 | 4 | 4 | 5 | 20 |
| | 面 積 | 16.45 | 7.10 | 43.33 | 82.24 | 48.64 | 110.26 | 308.02 |
| H21 | 会議数 | 2 | 2 | 6 | － | 6 | 3 | 19 |
| | 団地数 | 2 | 2 | 8 | 18 | 10 | 8 | 48 |
| | 面 積 | 43.67 | 28.69 | 141.32 | 245.26 | 140.82 | 182.70 | 782.46 |
| H22 | 会議数 | － | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 | 9 |
| | 団地数 | 2 | 3 | 13 | 25 | 9 | 11 | 63 |
| | 面 積 | 17.06 | 64.90 | 244.71 | 403.16 | 127.32 | 251.02 | 1,108.17 |
| H23 | 会議数 | － | 1 | 1 | － | 1 | 2 | 5 |
| | 団地数 | 2 | 2 | 16 | 13 | 11 | 13 | 57 |
| | 面 積 | 19.21 | 28.23 | 265.37 | 282.18 | 169.16 | 402.51 | 1,166.66 |
| H24 | 会議数 | － | 1 | 1 | － | － | 3 | 5 |
| | 団地数 | － | － | 11 | 13 | 9 | 12 | 45 |
| | 面 積 | － | － | 198.75 | 320.24 | 208.57 | 345.26 | 1,072.82 |
| H25 | 会議数 | － | － | 1 | － | 1 | － | 2 |
| | 団地数 | 1 | 1 | 15 | 15 | 12 | 12 | 56 |
| | 面 積 | 18.45 | 15.91 | 262.77 | 342.63 | 204.59 | 385.25 | 1,229.60 |
| H26 | 会議数 | － | 3 | 2 | 1 | 2 | － | 8 |
| | 団地数 | 1 | － | 11 | 13 | 10 | 12 | 47 |
| | 面 積 | 16.25 | 0.13 | 180.42 | 317.89 | 202.85 | 372.79 | 1,090.33 |
| H27 | 会議数 | － | 1 | 3 | 1 | 3 | － | 8 |
| | 団地数 | 1 | 3 | 12 | 9 | 4 | 13 | 42 |
| | 面 積 | 22.39 | 33.05 | 288.37 | 310.36 | 124.58 | 275.63 | 1,054.38 |
| H28 | 会議数 | － | 1 | 3 | 1 | 2 | － | 7 |
| | 団地数 | 1 | 3 | 15 | 9 | 8 | 12 | 48 |
| | 面 積 | 12.28 | 51.85 | 334.49 | 367.59 | 166.29 | 313.10 | 1,245.60 |
| H29 | 会議数 | － | － | － | － | 2 | － | 2 |
| | 団地数 | － | 3 | 16 | 8 | 11 | 10 | 48 |
| | 面 積 | － | 42.92 | 244.0 | 277.84 | 257.64 | 275.96 | 1,098.36 |
| H30 | 会議数 | － | 1 | 1 | － | － | － | 2 |
| | 団地数 | － | 3 | 7 | 6 | 8 | 12 | 36 |
| | 面 積 | － | 29.98 | 209.41 | 180.54 | 189.41 | 302.79 | 912.13 |
| R1 | 会議数 | － | 1 | － | － | 1 | － | 2 |
| | 団地数 | － | 1 | 9 | 13 | 11 | 10 | 44 |
| | 面 積 | － | 25.31 | 208.56 | 333.41 | 194.24 | 300.76 | 1,062.28 |
| 計 | 会議数 | 4 | 14 | 32 | 20 | 28 | 13 | 111 |
| | 団地数 | 12 | 22 | 137 | 146 | 107 | 130 | 554 |
| | 面 積 | 165.76 | 328.07 | 2,621.50 | 3,463.34 | 2,034.11 | 3,518.03 | 12,130.81 |

**付表 4 森づくり団地設置状況（令和元年度）**

（単位：ha）

| 地区 | 会議名 | 団地名 | 認定面積 |
|---|---|---|---|
| 小原 | 樽俣 | 樽俣中 | 25.31 |
| | 計 | 1 団地 | 25.31 |
| 足助 | 足助白山 | 足助白山南 | 8.22 |
| | 上八木 | 座当 | (追)1.11 |
| | | 野田ヶ平 | 31.80 |
| | 大多賀 | 不二平 | 15.67 |
| | 五反田 | サラタジリ・大平 | (追)0.65 |
| | | | (追)0.06 |
| | 新盛 | 新盛第３ | 10.36 |
| | 竜岡 | 大田和・井ノ田和・前田 | 8.84 |
| | 平沢 | 平沢南 | (追)0.49 |
| | 大和 | 細田 | 31.80 |
| | 御内 | 天狗山 | (追)0.92 |
| | | 高小屋・宮小屋・下向 | 53.23 |
| | | 場羅 | 31.31 |
| | 御蔵 | 引地・池鳥向 | 14.10 |
| | 計 | 9 団地 | 208.56 |
| 下山 | 阿蔵 | 北ノ平北 | (追)2.67 |
| | 大沼町四組 | 大伏 | 31.25 |
| | | 奥山・右エ門東 | 16.25 |
| | | 志手ノ木・島川原 | (追)4.38 |
| | 小松野 | 大クテ・蔵掛・大島 | 35.95 |
| | 立岩 | 社端・横手 | (追)5.90 |
| | | 泉２ | 5.78 |
| | | 中沢・板橋 | 11.48 |
| | | 西山 | 51.70 |
| | 田平沢 | 兵造畑・前田 | 43.74 |
| | 栃立 | 奥屋・柳クゴ | 19.64 |
| | 梨野 | 大根第３ | 10.67 |
| | | 松根・コミ山・大下り | (追)3.21 |
| | | 西口・山ノ上沢 | 28.00 |
| | 羽布 | 腰掛・エス小屋 | 24.93 |
| | 東大林 | 大田 | (追)3.39 |
| | | 半ノ木第３ | 25.31 |
| | | 毛呂・松下 | 9.16 |
| | 計 | 13 団地 | 333.41 |

| 地区 | 会議名 | 団地名 | 認定面積 |
|---|---|---|---|
| 旭 | 有間 | 有間南 | 11.68 |
| | 池島 | 池島西 | 25.63 |
| | 上切 | 上切東 | 27.27 |
| | 日下部 | 日下部第７ | 26.05 |
| | 小田 | 小田第３ | 12.47 |
| | 笹戸・市平 | 笹戸北 | (追)0.13 |
| | | 市平北 | 9.64 |
| | 小滝野・閑羅瀬 | 松根北 | 20.15 |
| | 杉本 | 源重南 | (追)0.01 |
| | | 白石西 | 15.58 |
| | | 九沢 | 11.75 |
| | 坪崎 | イヲツ南 | 20.74 |
| | 槙本 | 槙本東 | 13.14 |
| | 計 | 11 団地 | 194.24 |
| 稲武 | 稲橋 | 横川入９３ | 48.27 |
| | | 大クゴ・ウスガクボ・ワデ | (追)4.72 |
| | | ハチガクゴ・大栗・ナカ田・横川口 | 14.33 |
| | 稲橋 | 名大７９ | 59.76 |
| | 大野瀬 | 宮ノ腰 | 13.70 |
| | | 城山 | 12.64 |
| | | 大カサワ北 | 9.13 |
| | 押山 | 堀田・平林 | (追)3.55 |
| | 小田木 | 西ノ洞・小屋加沢 | (追)4.24 |
| | 川手 | 谷平・ハネ・スナバ | 17.64 |
| | | オオホラ | (追)0.50 |
| | | シシナド・ヤタイラ | (追)2.21 |
| | | シロノ上・ヒカシ | (追)0.38 |
| | | ヲヲゾリ・ノマキ | 13.56 |
| | 黒田 | 東小川 | (追)0.09 |
| | | 二本木 | 25.48 |
| | | 寺洞山 | (追)21.90 |
| | 富永 | 富永西 | (追)0.85 |
| | 野入 | 井ノ入 | 47.81 |
| | 計 | 10 団地 | 300.76 |
| 合計 | | 44 団地 | 1,062.28 |

注１　（追）は、既設の団地に追加したもの。団地数にはカウントしない。

**付表 5 あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林整備事業）等の候補地とりまとめ状況**　（単位：ha･千円）

| 年度 | あいち森と緑づくり森林整備事業 | | 保安林事業 | |
|---|---|---|---|---|
| | 面　積 | 契約金額 | 面　積 | 契約金額 |
| H21 | 100.78 | 13,802 | | |
| H22 | 316.93 | 48,939 | | |
| H23 | 403.36 | 57,818 | | |
| H24 | 569.29 | 88,038 | | |
| H25 | 514.08 | 79,986 | | |
| H26 | 266.72 | 46,769 | | |
| H27 | 314.02 | 58,251 | | |
| H28 | 328.06 | 63,537 | | |
| H29 | 186.73 | 35,673 | 23.33 | 3,831 |
| H30 | 193.27 | 37,964 | 16.74 | 4,099 |
| R1 | 354.40 | 69,791 | 23.54 | 4,780 |
| 計 | 3,547.64 | 600,569 | 63.61 | 12,710 |

**付表 6 森林経営計画認定件数及び面積**　（単位：件･ha）

| 年度 | | 豊田 | 小原･藤岡 | 足助 | 下山 | 旭 | 稲武 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H25 | 件 数 | – | – | 5 | 3 | 3 | 3 | 14 |
| | 面 積 | – | – | 217.27 | 132.19 | 228.57 | 91.13 | 669.16 |
| H26 | 件 数 | – | – | – | 3 | 4 | 2 | 9 |
| | 面 積 | – | – | – | 110.93 | 98.09 | 96.85 | 305.87 |
| H27 | 件 数 | – | – | 2 | 3 | 2 | 2 | 9 |
| | 面 積 | – | – | 84.23 | 112.07 | 69.12 | 99.99 | 365.41 |
| H28 | 件 数 | – | – | 3 | 2 | 4 | 1 | 10 |
| | 面 積 | – | – | 180.61 | 177.68 | 177.91 | 29.58 | 565.78 |
| H29 | 件 数 | – | – | 4 | 3 | 1 | 2 | 10 |
| | 面 積 | – | – | 1,166.74 | 237.46 | 46.19 | 82.35 | 1,532.74 |
| H30 | 件 数 | 1 | – | – | 2 | 1 | 2 | 6 |
| | 面 積 | 36.74 | – | – | 172.38 | 35.56 | 86.78 | 331.46 |
| R1 | 件 数 | – | – | 3 | – | 2 | 2 | 7 |
| | 面 積 | – | – | 170.47 | – | 134.35 | 76.67 | 381.49 |
| 計 | 件 数 | 1 | – | 17 | 16 | 17 | 14 | 65 |
| | 面 積 | 36.74 | – | 1,819.32 | 942.71 | 789.79 | 563.35 | 4,151.91 |

**付表 7 豊田森林組合の高性能林業機械保有数**　　（単位：台）

| 年度 | スイングヤーダ | プロセッサ | フォワーダ | タワーヤーダ | ハーベスタ | グラップル | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H23 | 4（2） | 3（1） | 4（1） | 1（－） | 1（－） | 2（1） | 15（5） |
| H24 | 4（2） | 3（1） | 4（1） | 1（－） | 1（－） | 1（－） | 14（4） |
| H25 | 4（1） | 3（1） | 4（1） | 1（－） | 1（－） | 1（－） | 14（3） |
| H26 | 4（1） | 3（－） | 4（－） | 1（－） | 1（－） | 2（－） | 15（1） |
| H27 | 4（1） | 4（－） | 5（－） | 1（－） | 1（－） | 2（－） | 17（1） |
| H28 | 4（1） | 4（－） | 5（－） | 1（－） | 1（－） | 2（－） | 17（1） |
| H29 | 4（－） | 5（－） | 5（1） | －（－） | －（－） | 3（－） | 17（1） |
| H30 | 5（－） | 6（－） | 6（1） | －（－） | －（－） | 3（－） | 20（1） |
| R1 | 5（－） | 6（－） | 6（1） | －（－） | －（－） | 3（－） | 20（1） |

注　( )内は県林業振興基金からのレンタルで内数。　　資料：豊田森林組合

**付表 8 高性能林業機械施業促進補助金**　　(単位：台･千円)

| 年度 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対象台数 | 4 | 4 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 補助金額 | 999 | 926 | 922 | 507 | 706 | 1,055 | 1,055 | 1,405 | 1,406 |

資料：森林課･豊田森林組合

**付表 9 豊田市林道一覧（令和元年度）**　　（単位：m）

| 地区名 | 管理者 | 路線数 | 延 長 | 舗装路線数 | 舗装延長 |
|---|---|---|---|---|---|
| 豊田 | 市 | 19 | 31,523 | 14 | 28,286 |
| | 組 合 | 3 | 1,684 | － | － |
| | 県 | － | － | － | － |
| | 計 | 22 | 33,207 | 14 | 28,286 |
| 藤岡 | 市 | 22 | 22,843 | 11 | 14,886 |
| | 組 合 | － | － | － | － |
| | 県 | 1 | 1,833 | 1 | 1,833 |
| | 計 | 23 | 24,676 | 12 | 16,719 |
| 小原 | 市 | 24 | 38,849 | 21 | 35,329 |
| | 組 合 | － | － | － | － |
| | 県 | － | － | － | － |
| | 計 | 24 | 38,849 | 21 | 35,329 |
| 足助 | 市 | 44 | 76,471 | 26 | 47,194 |
| | 組 合 | － | － | － | － |
| | 県 | 3 | 11,987 | 1 | 3,287 |
| | 計 | 47 | 88,458 | 27 | 50,481 |
| 下山 | 市 | 52 | 118,634 | 38 | 71,718 |
| | 組 合 | － | － | － | － |
| | 県 | － | － | － | － |
| | 計 | 52 | 118,634 | 38 | 71,718 |
| 旭 | 市 | 29 | 49,895 | 12 | 27,829 |
| | 組 合 | － | － | － | － |
| | 県 | 1 | 1,919 | － | － |
| | 計 | 30 | 51,814 | 12 | 27,829 |
| 稲武 | 市 | 48 | 100,847 | 32 | 56,715 |
| | 組 合 | 4 | 5,600 | 2 | 440 |
| | 県 | － | － | － | － |
| | 計 | 52 | 106,447 | 34 | 57,155 |
| 計 | 市 | 238 | 439,062 | 154 | 281,957 |
| | 組 合 | 7 | 7,284 | 2 | 440 |
| | 県 | 5 | 15,739 | 2 | 5,120 |
| | 計 | 250 | 462,085 | 158 | 287,517 |

**付表 10 林業用路網の開設延長**　　(単位：km)

| 年度 | 林 道 | 林業専用道 | 作業道 | | | | 搬出路 | | | 合 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 単市作業道 | 水源基金 | あいち森と緑づくり | 計 | 私有林 | 市有林 | 計 | |
| H17 | 3.44 | – | 0.88 | 2.31 | – | 3.19 | 1.20 | – | 1.20 | 7.83 |
| H18 | 3.92 | – | 0.52 | 2.71 | – | 3.23 | 2.90 | – | 2.90 | 10.05 |
| H19 | 3.03 | – | 0.00 | 2.58 | – | 2.58 | 2.68 | 2.39 | 5.07 | 10.68 |
| H20 | 3.33 | – | 2.41 | 3.12 | – | 5.53 | 9.80 | 2.82 | 12.62 | 21.48 |
| H21 | 2.09 | – | 2.42 | 2.50 | – | 4.92 | 11.49 | 2.82 | 14.22 | 21.23 |
| H22 | 2.57 | – | 3.71 | 3.38 | – | 7.09 | 12.08 | 3.01 | 15.09 | 24.75 |
| H23 | 1.07 | – | 3.96 | 2.52 | 1.24 | 7.72 | 10.30 | 2.33 | 12.63 | 21.42 |
| H24 | 0.89 | 2.38 | 2.40 | 2.96 | – | 6.67 | 10.93 | 1.15 | 12.08 | 22.02 |
| H25 | 0.90 | 0.78 | 1.97 | 2.60 | – | 4.57 | 8.97 | 0.75 | 9.72 | 15.97 |
| H26 | 0.97 | 2.32 | 2.07 | 2.33 | – | 4.40 | 14.72 | 0.24 | 14.96 | 22.65 |
| H27 | 0.57 | 0.77 | 1.99 | 2.42 | – | 4.42 | 20.73 | – | 20.73 | 26.49 |
| H28 | 0.98 | – | 1.17 | 2.16 | – | 3.33 | 27.28 | – | 27.28 | 31.59 |
| H29 | 0.11 | 1.33 | 1.45 | 2.20 | – | 3.69 | 34.52 | – | 34.52 | 39.65 |
| H30 | 0.38 | – | 1.49 | 2.85 | – | 4.34 | 37.83 | 1.55 | 39.38 | 44.10 |
| R1 | 0.59 | 1.04 | 0.77 | 2.68 | – | 3.45 | 38.15 | 1.76 | 39.91 | 44.99 |

注１　単市作業道は、H17～H19は造林事業、H20からは間伐材搬出路網開設事業の作業道開設事業を記載。

**付表 11 林道開設事業（令和元年度市施工）**　　(単位：m･%･千円)

| 地区 | 路線名称 | 延長 | 幅員 | 延 長 | | | R１事業費 | 県補助金 | 市 費 | 受益者負 担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | R1 | 開設済 | 進捗率 | | | | |
| 足助 | 大日影支線 | 693 | 4.0 | 27 | 628 | 91 | 14,762 | 9,840 | 4,774 | 148 |
| 稲武 | 野入立野線 | 1,205 | 4.0 | 80 | 880 | 73 | 21,084 | 13,200 | 7,647 | 237 |
| 計 | | | | 107 | | | 35,846 | 23,040 | 12,421 | 385 |

**付表 12 過疎山村地域代行林道整備事業（愛知県施工）**　　(単位：m･%)

| 年度 | 下山 | 稲武 | 計 |
|---|---|---|---|
| | 田平沢平瀬線 | 河上瀬柏洞線 | |
| ～H19 | – | 6,046 | 6,046 |
| H20 | – | 445 | 445 |
| H21 | – | 447 | 447 |
| H22 | – | 415 | 415 |
| H23 | – | – | – |
| H24 | – | 303 | 303 |
| H25 | – | 331 | 331 |
| H26 | – | 464 | 464 |

| 年度 | 下山 | 稲武 | 計 |
|---|---|---|---|
| | 田平沢平瀬線 | 河上瀬柏洞線 | |
| H27 | – | 395 | 395 |
| H28 | 813 | – | 813 |
| H29 | 168 | – | 168 |
| H30 | 311 | 72 | 383 |
| R1 | 404 | 80 | 484 |
| 延長計 | 1,696 | 8,998 | 10,694 |
| 計画 | 10,600 | 9,300 | |
| 進捗率 | 16 | 97 | |

**付表 13 林業専用道(規格相当)開設事業（令和元年度市施工）** (単位：m･千円)

| 地区 | 路 線 名 称 | 延長 | 幅員 | 事業費 | 国･県補助 | 市費 | 受益者負担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下山 | 和合黒坂支線 | 218 | 3.5 | 19,962 | 13,200 | 6,559 | 203 |

注１ 受益者負担は、対象事業費の3%。
　２ 平成30年度繰越分（823m）と合わせると延長は1,041mとなる。

**付表 14 間伐材搬出路網（作業道）開設事業（令和元年度豊田森林組合施工）** (単位：m･千円)

| 地区 | 路線名称 | 延長 | 幅員 | 事業費 | 市補助金 | 受益者負担 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 旭 | 柿平万場線 | 768 | 3.0 | 7,537 | 7,311 | 226 |

注１ 測量設計費は別途補助(千円/m)。事業費には含まない。

**付表 15 矢作川水源林対策事業（令和元年度豊田森林組合施工）** (単位：m･千円)

| 地区 | 路線名称 | 延長 | 幅員 | 事業費 | 水源基金 | 市補助金 | 受益者負担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下山 | 物見石中央支線 | 702 | 3.0 | 6,655 | 3,580 | 2,875 | 200 |
| | 物見石東線 | 1,185 | 3.0 | 11,621 | 6,044 | 5,229 | 349 |
| 旭 | 太田直道線 | 793 | 3.0 | 7,632 | 4,044 | 3,359 | 229 |
| 計 | | 2,680 | | 25,908 | 13,668 | 11,463 | 777 |

注１ 測量設計費は別途補助(千円/m)。事業費には含まない。

**付表 16 間伐材搬出路網（令和元年度豊田森林組施工）** (単位：m･千円)

| 地区 | 路線名称 | 延長 | 事業費 | 市補助金 | 受益者負担 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小原 | 千洗長坂団地線 | 2,280 | 3,420 | 2,280 | 1,140 |
| 足助 | 御内亀割第１団地線 | 1,042 | 1,563 | 1,042 | 521 |
| | 御内亀割第２団地線 | 442 | 663 | 442 | 221 |
| | 千田上屋敷団地線 | 86 | 129 | 86 | 43 |
| | 上八木前岳団地線 | 939 | 1,409 | 939 | 470 |
| | 上八木無見田団地線 | 1,862 | 2,793 | 1,862 | 931 |
| | 惣田平沢団地線 | 1,003 | 1,505 | 1,003 | 502 |
| | 玉野菅生団地線 | 1,937 | 2,906 | 1,937 | 969 |
| 下山 | 和合下田団地線 | 2,575 | 3,863 | 2,575 | 1,288 |
| | 阿蔵北ノ平団地線 | 4,190 | 6,285 | 4,190 | 2,095 |
| | 宇連野物見石第３団地線 | 612 | 918 | 612 | 306 |
| | 宇連野物見石第４団地線 | 1,812 | 2,718 | 1,812 | 906 |
| | 宇連野物見石第５団地線 | 719 | 1,079 | 719 | 360 |
| | 宇連野物見石第 5(その 2)団地線 | 2,876 | 4,314 | 2,876 | 1,438 |
| | 梨野清水口団地線 | 3,599 | 5,399 | 3,599 | 1,800 |
| | 梨野深田団地線 | 643 | 965 | 643 | 322 |
| | 団地外 | 928 | 1,392 | 418 | 974 |
| 旭 | 惣田加塩団地線 | 1,109 | 1,664 | 1,109 | 555 |
| 稲武 | 中当ヒカゲ団地線 | 860 | 1,290 | 860 | 430 |
| | 富永ヨシガダイラ団地線 | 1,414 | 2,121 | 1,414 | 707 |
| | 野入辻谷団地線 | 1,872 | 2,808 | 1,872 | 936 |
| | 御所貝津団地線 | 2,174 | 3,261 | 2,174 | 1,087 |
| 計 | | 34,974 | 52,461 | 34,464 | 17,997 |

注１ 幅員は2.5m、補助率は2/3以内。

**付表 17 間伐材搬出路網（令和元年度自力施工）**　　（単位：m･千円）

| 地区 | 施工場所 | 延長 | 事業費 | 市補助金 | 受益者負担 |
|---|---|---|---|---|---|
| 下山 | 梨野町地内 | 83 | 50 | 15 | 35 |
| 足助 | 千田町地内 | 1,360 | 816 | 245 | 571 |
| | | 1,267 | 760 | 228 | 532 |
| | 東大見町地内 | 238 | 143 | 43 | 100 |
| | | 232 | 139 | 42 | 97 |
| 計 | | 3,180 | 1,908 | 572 | 1,336 |

注１　幅員は1.5m、補助率は3/10以内。

**付表 18 林道改良及び舗装実績**　　（単位:m）

| 年度 | 改良 | 舗装 | 年度 | 改良 | 舗装 | 年度 | 改良 | 舗装 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H17 | 757 | 5,931 | H22 | 877 | 4,304 | H27 | 467 | 2,552 |
| H18 | 870 | 5,140 | H23 | 816 | 1,900 | H28 | 316 | 3,884 |
| H19 | 708 | 5,666 | H24 | 303 | 1,647 | H29 | 1,472 | 2,939 |
| H20 | 770 | 6,198 | H25 | 808 | 1,780 | H30 | 1,281 | 3,091 |
| H21 | 1,436 | 4,659 | H26 | 1,227 | 1,429 | R1 | 940 | 3,007 |

**付表 19 林道改良事業（令和元年度市施工）**　　（単位：m･千円）

| 地区 | 路線名称 | 延長 | 主な工種 | 事業費 | 国･県補助金 | 市 費 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 藤岡 | 北一色線 | 50 | 法面改良 | 7,347 | 4,200 | 3,147 |
| 下山 | 北ノ平線 | 19 | 路肩改良 | 5,310 | 3,000 | 2309.7 |
| | 物見石線 | 300 | 舗装改良ほか | 6,903 | 3,780 | 3,123 |
| 旭 | 茶臼山線 | 31 | 法面改良 | 6,070 | 3,600 | 2,470 |
| | 浅野線 | 16 | 法面改良 | 10,412 | 6,180 | 4,232 |
| 稲武 | 野入月ヶ平線 | 295 | 法面改良･舗装改良 | 26,690 | 14,741 | 11,949 |
| | 小川線 | 51 | 法面改良 | 5,024 | 3,000 | 2,024 |
| | 河上瀬柏洞線※ | 101 | 法面改良 | 11,869 | 7,700 | 4,169 |
| | 横川入線 | 77 | 法面改良 | 10,197 | 6,000 | 4,197 |
| 計 | | 940 | | 89,821 | 52,201 | 37,620 |

※ 道整備交付金を活用。

**付表 20 林道舗装事業（令和元年度市施工）**　　（単位：m･%･千円）

| 地区 | 路線名称<br>全体計画 | R1<br>延長 | 舗装済<br>延長 | 進捗率 | R1<br>事業費 | 県補助金 | 市費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下山 | 尾根線<br>L4,372×W4.0 | 643 | 683 | 16 | 16,469 | 11,000 | 5,500 |
| | 切山鋳師釜線※<br>L4,049×W4.0～5.0 | 286 | 3,993 | 99 | 11,454 | 7,636 | 3,818 |
| 旭 | 浅野線<br>L7,178×W4.0～5.0 | 739 | 5,066 | 71 | 19,578 | 13,000 | 6,578 |
| | 茶臼山線<br>L1,440×W4.0 | 210 | 1,123 | 78 | 6,738 | 4,400 | 2,338 |
| 稲武 | 富永２号線<br>L1,371×W3.0 | 243 | 288 | 21 | 8,467 | 5,600 | 2,867 |
| | 小川線<br>L4,472×W4.0 | 366 | 2,638 | 59 | 14,430 | 7,800 | 6,630 |
| | 河上瀬柏洞線<br>L9,300×W4.0 | 520 | 793 | 9 | 16,394 | 10,600 | 5,794 |
| 計 | | 3,007 | 14,584 | | 93,530 | 60,036 | 33,525 |

注１　道整備交付金を活用。

**付表 21 市公共事業の地域材使用量**　　(単位：$m^3$)

| 年度 | 建設用資材 | 建築等用材 | チップ材 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| H17 | 129.32 | 272.46 | 15.30 | 417.08 |
| H18 | 193.55 | 89.27 | 165.20 | 48.02 |
| H19 | 271.73 | 217.04 | 0.24 | 488.76 |
| H20 | 290.73 | 101.29 | 316.29 | 708.21 |
| H21 | 80.32 | 19.06 | 1.84 | 101.22 |
| H22 | 145.16 | 89.93 | 93.55 | 328.64 |
| H23 | 72.77 | 34.03 | 0.00 | 106.80 |

| 年度 | 建設用資材 | 建築等用材 | チップ材 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| H24 | 57.91 | 166.85 | 2278.00 | 2,502.76 |
| H26 | 42.70 | 45.39 | 67.70 | 155.79 |
| H27 | 14.28 | 1,073.27 | 32.55 | 1,120.10 |
| H28 | 9.84 | 39.75 | 0.00 | 49.59 |
| H29 | 51.78 | 166.02 | 164.10 | 381.90 |
| H30 | 41.80 | 73.30 | 0.00 | 115.10 |
| R1 | 11.51 | 71.71 | 2.00 | 85.23 |

資料：技術管理課

**付表 22 緑の雇用担い手対策事業に係る人材育成実績**　　（単位：人）

| 年度 | 採用者数 | 在籍者数 |
|---|---|---|
| H15 | 15 | 5 |
| H16 | 10 | 3 |
| H17 | 4 | 2 |
| H18 | 6 | 1 |
| H19 | 9 | 2 |
| H20 | 10 | 2 |

| 年度 | 採用者数 | 在籍者数 |
|---|---|---|
| H21 | 19 | 5 |
| H22 | 7 | 0 |
| H23 | 6 | 3 |
| H24 | 3 | 0 |
| H25 | 3 | 1 |
| H26 | 3 | 2 |

| 年度 | 採用者数 | 在籍者数 |
|---|---|---|
| H27 | 2 | 0 |
| H28 | 2 | 1 |
| H29 | 4 | 3 |
| H30 | 3 | 3 |
| R1 | 4 | 4 |
| 計 | 110 | 37 |

資料：豊田森林組合

**付表 23 森づくり団地化推進員設置状況等**

（単位：人・円）

| 年度 | 人数 | 補助金額 | 新規就業者数※ |
|---|---|---|---|
| H21 | 5 | 8,183 | – |
| H22 | 6 | 9,711 | 1 |
| H23 | 7 | 9,750 | 1 |
| H24 | 7 | 10,786 | 2 |
| H25 | 8 | 11,500 | 1 |
| H26 | 8 | 11,966 | 3 |
| H27 | 8 | 14,935 | 2 |
| H28 | 8 | 17,971 | 1 |
| H29 | 8 | 17,971 | 1 |
| H30 | 8 | 17,769 | 1 |
| R1 | 8 | 17,974 | – |

※ 団地化推進員を経て、豊田森林組合の員又は作業員に就職した人数。

**付表 24 年度別事業費**

(単位：千円)

| 年度 | 事業費 | 事業内容 |
|---|---|---|
| H19 | 2,993 | 森林ＧＩＳシステムの基本設計 |
| H20 | 9,765 | 基本システムの導入及び業務支援システムの詳細設計 |
| H21 | 29,715 | 団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの開発導入 |
| H22 | 2,699 | 団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 |
| H23 | 4,014 | 団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新<br>市町村森林整備計画の改正に係るゾーニングの資料作成 |
| H24 | 4,250 | 団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 |
| H25 | 3,720 | 団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 |
| H26 | 3,348 | 団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 |
| | 19,440 | 運用環境の再構築、必要な機器・ソフトウェア調達及びプログラム調整 |
| H27 | 4,129 | 団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 |
| | 17,280 | 森林整備対象の人工林抽出、過密人工林の特定、森林情報の整備（豊田・藤岡・小原・足助） |
| H28 | 3,672 | 団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 |
| | 20,520 | 森林整備対象の人工林抽出、過密人工林の特定、森林情報の整備（旭・稲武・下山） |
| H29 | 5,512 | 団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 |
| H30 | 6,806 | 林地台帳構築、団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 |
| R1 | 4,071 | 団地化業務、林地台帳、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 |

**付表 25 人材育成コース受講者数**

（単位：日・人）

| 講座名 | 開催講座日数 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 山主森林経営講座 | – | 11 | 10 | 10 | 9 | | | | | |
| 楽しい山づくり入門講座 | 5 | | | | | 10 | 7 | 10 | 11 | 7 |
| 森林観察リーダー養成講座 | – | 9 | 13 | | | | | | | |
| 森林観察リーダー入門講座 | 5 | | | 13 | 10 | 10 | 10 | 8 | 13 | 13 |
| 間伐ボランティア初級講座 | 3 | 20 | 20 | 19 | 20 | 17 | 12 | 13 | 18 | 16 |
| セミプロ林業作業者養成講座 | – | 10 | 10 | 11 | 12 | 11 | 10 | 7 | 8 | |
| 山主自力間伐講座 | 2 | 12 | 12 | 11 | 12 | 7 | 10 | 11 | 12 | 11 |
| 計 | 15 | 62 | 65 | 64 | 63 | 55 | 49 | 49 | 62 | 47 |

資料：とよた森林学校実施報告書

**付表 26 森の応援団コース受講者数**　　（単位：日・人）

| 講座名 | 開催講座日数 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 森林セミナー | 3 | 46 | 41 | 42 | 39 | 41 | 40 | 43 | 43 | 38 |
| 間伐してベンチをつくり寄付しよう | – | 13 | 12 | 13 | 10 | 11 | 12 | | | |
| 森林と災害 | 2 | | | | | | | 19 | 14 | 19 |
| 矢作川源流の山を歩こう | – | 22 | 21 | | | | | | | |
| 矢作川源流の森ウォーキング | 2 | | | 22 | 19 | 21 | 21 | 20 | 21 | 21 |
| 木づかいいろいろ発見 | – | 20 | 21 | 21 | | | | | | |
| 森あそび入門 | – | 11 | | | | | | | | |
| 夏休み昆虫観察会 | 2 | | 29 | 24 | 19 | 21 | 27 | 15 | 26 | 19 |
| 初めての樹木分類教室 | – | 25 | | | | | | | | |
| 森林の草花調べ | – | | 22 | 20 | 22 | 22 | 22 | | | |
| 森林の樹木調べ（入門コース） | 2 | | | | | | | 20 | 21 | 17 |
| 初めての間伐体験 | – | 20 | 19 | 10 | | | | | | |
| レッツトライ　初めての間伐 | – | | | | 11 | | | | | |
| レッツトライ　木こり体験 | – | | | | | 14 | | | | |
| 山の日は木こり体験 | – | | | | | | 17 | 10 | 6 | |
| 森づくりの日は木こり体験 | – | | | | | | 8 | | | |
| 森づくりの日は森林ウォーキング | 1 | | | | | | | 15 | 19 | 17 |
| どんぐり博士養成講座 | – | 20 | | | | | | | | |
| 森林調査いろいろ学習会 | – | | 16 | 18 | 10 | | | | | |
| レッツトライ　森の健康診断 | – | | | | | 12 | | | | |
| 森林の動物観察 | – | | 20 | 19 | | | | | | |
| 森と人の文化史 | 2 | | | | 20 | 17 | 21 | 22 | 22 | 21 |
| 森林の不思議調べ | – | | | | 20 | 21 | 21 | | | |
| 森が紡ぐ和のこころ | – | | | | | | | 21 | 17 | |
| 自然の仕組み探検隊 | – | | | | | | 20 | 22 | 22 | |
| 計 | 14 | 177 | 201 | 189 | 170 | 180 | 209 | 207 | 211 | 152 |

資料：とよた森林学校実施報告書

**付表 27 出前講座の開催**　　(単位：回・人)

| 年度 | 申込み団体数 | 延べ開催数 | 延べ参加者数 | 派遣職員延べ人数 | 内　容　等 |
|---|---|---|---|---|---|
| H23 | 20 | 49 | 1,509 | 62 | 森林の働き、間伐の効果などの基礎講座 |
| H24 | 27 | 54 | 1,971 | 59 | |
| H25 | 19 | 37 | 1,321 | 40 | |
| H26 | 22 | 37 | 962 | 43 | |
| H27 | 25 | 38 | 1,193 | 41 | |
| H28 | 23 | 42 | 1,154 | 44 | |
| H29 | 24 | 36 | 922 | 37 | |
| H30 | 21 | 35 | 864 | 35 | |
| R1 | 3 | 4 | 320 | 4 | |

**付表 28 森林ボランティア始動支援補助事業**

(単位：人・円)

| 年度 | 補助対象団体数 | 構成員数 | 補助金交付額 |
|---|---|---|---|
| H22 | 2 | 43 | 200,000 |
| H23 | 2 | 43 | 200,000 |
| H24 | 2 | 42 | 175,000 |
| H25 | 2 | 36 | 125,000 |
| H26 | 1 | 15 | 75,000 |
| H27 | 1 | 17 | 75,000 |
| H28 | 2 | 23 | 125,000 |
| H29 | 2 | 19 | 125,000 |
| H30 | 2 | 22 | 150,000 |
| R1 | 2 | 24 | 150,000 |

**付表 29 森林ボランティア安全対策補助事業**

(単位：人・円)

| 年度 | 補助対象団体数 | 構成員数 | 補助金交付額 |
|---|---|---|---|
| H22 | 7 | 124 | 316,675 |
| H23 | 8 | 142 | 348,355 |
| H24 | 8 | 164 | 373,065 |
| H25 | 9 | 154 | 430,710 |
| H26 | 10 | 157 | 424,870 |
| H27 | 13 | 191 | 548,740 |
| H28 | 12 | 174 | 530,115 |
| H29 | 11 | 175 | 468,345 |
| H30 | 13 | 187 | 543,790 |
| R1 | 12 | 171 | 498,135 |

注１　補助率はボランティア保険料の1/2以内。

**付表 30 近畿・東海・北陸市町村森林フォーラムの開催概要**

| 開催日時 | 開催都市 | 開催内容 | 参加都市/機関 |
|---|---|---|---|
| 平成26年<br>８月21日（木）<br>～22日（金） | 金沢市<br>（金沢学生のまち市民交流館ほか） | 【１日目】基調講演　林野庁森林整備部長 本郷　浩二 氏<br>東海３県事例発表、北陸３県事例発表<br>【２日目】「企業の森」テクノパーク、小立野小学校等現地視察 | 高山市、津市、福井市、富山市、金沢市、豊田市 |
| 平成27年<br>11月17日（火）<br>～18日（水） | 豊田市<br>（豊田市能楽堂ほか） | 【１日目】・森づくり構想シンポジウム（豊田市共催）<br>①基調講演　元林野庁長官 加藤 鐵夫 氏<br>②報告１　三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング（株）<br>相川 高信 氏<br>③報告２　（国研）森林総合研究所 石崎 涼子 氏<br>④パネルディスカッション<br>【２日目】意見交換会<br>香嵐渓（飯盛山）視察 | 高山市、郡上市、福井市、富山市、金沢市、京都市、新城市、豊田市 |
| 平成28年<br>８月９日（火）<br>～10日（水） | 富山市<br>（富山市役所ほか） | 【１日目】市町村意見交換会<br>【２日目】とやまペレット工場、（株）グリーンエネルギー北陸等現地視察 | 津市、郡上市、福井市、富山市、金沢市、豊田市 |
| 平成29年<br>８月22日（火）<br>～23日（水） | 郡上市<br>（郡上市総合文化センターほか） | 【１日目】市町村意見交換会<br>【２日目】長良川木材事業協同組合、明宝温泉湯星館等視察 | 郡上市、富山市、金沢市、新城市、鹿児島大学枚田教授、（国研）森林総合研究所 石崎主任研究員、豊田市 |
| 平成30年<br>8月27日（月）<br>～28日（火） | 福井市<br>（福井市役所ほか） | 【1日目】市町村意見交換会<br>【2日目】ふくい美山きときとき隊、フォレストケア高田（福井市内作業現場）等視察 | 福井市、飛騨市、郡上市、津市、富山市、金沢市、あわら市、坂井市、越前市、敦賀市、小浜市、（国研）森林総合研究所、鹿児島大学、豊田市 |
| 令和元年<br>8月1日（木）<br>～2日（金） | 高山市<br>（高山市役所ほか） | 【1日目】市町村意見交換会<br>【2日目】飛騨高山しぶきの湯バイオマス発電所（高山市内） | 高山市、金沢市、富山市、浜松市、新城市、福井市、郡上市、豊田市 |

**付表 31 伐採届の届出件数と届出面積**　（単位：件･ha）

| 区 分 | 件数･面積 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 主伐 | | うち転用 | | 間伐 | |
| H22 | 235 | 48.16 | 65 | 22.49 | 557 | 854.06 |
| H23 | 540 | 29.00 | 125 | 8.59 | 610 | 456.33 |
| H24 | 1,527 | 169.63 | 1,005 | 133.72 | 179 | 60.91 |
| H25 | 1,127 | 116.66 | 706 | 83.89 | 1,842 | 642.05 |
| H26 | 210 | 41.17 | 73 | 14.72 | 249 | 560.10 |
| H27 | 207 | 63.57 | 60 | 36.77 | 222 | 463.36 |
| H28 | 243 | 129.60 | 82 | 68.45 | 250 | 588.49 |
| H29 | 192 | 63.98 | 43 | 17.82 | 192 | 432.26 |
| H30 | 174 | 48.20 | 47 | 7.68 | 127 | 599.63 |
| R1 | 264 | 69.90 | 69 | 12.49 | 139 | 573.90 |

**付表 32 森林の土地の所有者届の件数と面積**（単位：件･ha）

| 区 分 | 件数･面積 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 売買 | | その他 | |
| H26 | 20 | 12.61 | 56 | 106.61 |
| H27 | 56 | 60.34 | 39 | 24.45 |
| H28 | 18 | 8.59 | 94 | 94.19 |
| H29 | 23 | 10.57 | 92 | 77.63 |
| H30 | 16 | 105.51 | 113 | 210.50 |
| R1 | 36 | 26.89 | 106 | 132.98 |

**付表 33 豊田市森林会館の利用件数と利用者数**　(単位：件･人)

| 年度 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 利用件数 | 32 | 55 | 66 | 33 | 50 | 38 | 42 | 59 | 43 | 37 |
| 利用者数 | 1,207 | 1,320 | 1,766 | 1,161 | 1,355 | 1,054 | 983 | 962 | 763 | 1,104 |

**付表 34 市有林で実施した間伐の実績**　　(単位：ha･千円)

| 年度 | 施業箇所 | 施業面積 | 事業費 | | 間伐の種類 | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | うち国県補助金 | 切置き | 利用 | 巻枯らし | |
| H17 | 13 | 38.43 | 15,635 | 206 | 34.79 | 3.64 | – | |
| H18 | 15 | 59.01 | 45,676 | 4,241 | 27.69 | 31.32 | – | |
| H19 | 10 | 35.94 | 31,877 | 10,328 | 16.58 | 16.04 | 3.32 | |
| H20 | 12 | 91.89 | 44,222 | 4,673 | 44.21 | 43.13 | 4.55 | |
| H21 | 16 | 100.52 | 36,222 | 7,141 | 79.16 | 19.38 | 1.98 | |
| H22 | 9 | 55.94 | 24,543 | 5,011 | 42.28 | 13.66 | – | |
| H23 | 9 | 75.23 | 31,474 | 19,081 | 61.61 | 13.62 | – | |
| H24 | 9 | 69.52 | 28,635 | 6,724 | 51.20 | 18.32 | – | |
| H25 | 4 | 38.81 | 11,484 | 1,568 | 33.00 | 5.81 | – | |
| H26 | 6 | 30.86 | 12,296 | – | 30.22 | 0.64 | – | |
| H27 | 3 | 15.40 | 3,863 | – | 15.40 | – | – | |
| H28 | 1 | 1.03 | 2,106 | – | 1.03 | – | – | 一部支障木伐採 |
| H29 | 1 | 0.60 | 421 | – | – | 0.60 | – | |
| H30 | 1 | 13.68 | 16,447 | – | 4.30 | 9.38 | – | |
| R1 | 1 | 8.00 | 11,800 | – | 1.06 | 6.94 | | |

**付表 35 市有林の素材販売実績**　　(単位：千円･$m^3$)

| 年度 | 販売額 | 販売材積 | 皆伐 | 間伐 | 支障木 |
|---|---|---|---|---|---|
| H17 | 5,068 | 330 | – | 209 | 120 |
| H18 | 38,423 | 2,590 | – | 2,232 | 206 |
| H19 | 27,664 | 2,173 | 268 | 1,787 | 118 |
| H20 | 33,525 | 2,862 | – | 2,862 | – |
| H21 | 19,520 | 1,634 | 405 | 1,319 | – |
| H22 | 27,417 | 1,776 | 414 | 1,362 | – |
| H23 | 19,144 | 1,601 | – | 1,601 | – |
| H24 | 15,524 | 1,592 | – | 1,592 | – |
| H25 | 1,679 | 167 | – | 167 | – |
| H26 | 557 | 65 | – | 65 | – |
| H27 | – | – | – | – | – |
| H28 | 112 | 38 | – | – | 38 |
| H29 | 485 | 46 | – | 46 | – |
| H30 | 14,217 | 1,220 | – | 1,220 | – |
| R1 | 9,297 | 715 | – | 715 | – |

**付表 36 市有林界確定測量業務**

(単位：$m^2$・千円)

| 年度 | 市有林名 | 台帳面積 | 実測面積 | 立会件数 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|
| H18 | 二タ瀬 | 183,971 | 334,718 | 18 | 9,135 |
| H19 | 黒坂② | 305,690 | 278,697 | 17 | 10,080 |
| | 田螺池② | 59,680 | 59,413 | 22 | |
| H20 | 大洞 | 529,160 | 601,864 | 25 | 16,275 |
| H21 | 大多賀 | 465,578 | 542,300 | 11 | 13,125 |
| H22 | 長坂 | 113,327 | 357,739 | 26 | 11,340 |
| | 御蔵 | 74,019 | 176,209 | 24 | 5,985 |
| H23 | 奥山 | 300,395 | 535,248 | 17 | 5,454 |
| H24 | 月原 | 685,800 | 691,770 | 14 | 17,315 |
| | 石楠 | 33,242 | 33,242 | 17 | |
| H25 | 三ツ足 | 437,118 | 437,089 | - | 10,215 |
| | 桑原 | 4,545 | 11,098 | 4 | |
| H26 | 四ッ松 | 170,669 | 375,482 | 7 | 10,282 |
| | 中之御所 | 47,742 | 76,540 | 28 | 3,913 |
| H27 | 総山 | 85,701 | 299,370 | 20 | 13,780 |
| | チソ | 117,764 | 114,771 | 20 | |
| H28 | 上川口 | 69,297 | 143,045 | 4 | 7,636 |
| | 稽古屋 | 9,369 | 28,561 | 3 | |
| H29 | 木瀬 | 148,000 | 145,525 | 9 | 9,093 |
| | 小滝野 | 44,500 | 27,995 | 5 | |
| H30 | 東大見 | 104,878 | 116,300 | 11 | 6,199 |
| R1 | 西市野々 | 63,175 | 63,558 | 13 | 4,935 |

**付表 37 市管理林道**　　(単位：箇所･千円)

| 年度 | 修繕路線数 | 延べ修箇所 | 事業費 | 主な修繕内容 |
|---|---|---|---|---|
| H22 | 100 | 145 | 53,437 | 崩土撤去4件 路肩保護9件 法面補修5件<br>路面補修16件、 排水処理6件、施設設置93件 |
| H23 | 88 | 121 | 38,661 | 崩土撤去14件 路肩･法面修繕20件 路面補修25件<br>排水処理 8件 施設設置47件 支障物除去 5件 |
| H24 | 58 | 88 | 32,421 | 崩土撤去 2件 路肩修繕12件 法面補修 4件<br>路面補修20件 擁壁修繕 1件 施設設置38件<br>排水処理11件 |
| H25 | 87 | 126 | 61,776 | 崩土撤去等23件 路肩修繕31件 法面補修8件<br>路面補修36件 施設設置20件 排水施設8件 |
| H26 | 49 | 69 | 47,094 | 崩土撤去等5件 路肩修繕15件 法面補修11件<br>路面補修16件 施設設置16件 排水施設6件 |
| H27 | 35 | 40 | 29,482 | 崩土撤去等13件 路面補修16件 法面補修4件<br>排水施設7件 |
| H28 | 32 | 89 | 22,044 | 崩土撤去等28件 路肩修繕14件 法面補修13件<br>路面補修30件 排水施設4件 |
| H29 | 32 | 66 | 24,788 | 路肩修繕15件 法面補修12件 路面補修28件<br>安全施設1件 排水施設10件 |
| H30 | 110 | 162 | 70,635 | 崩土撤去29件 路肩修繕41件 法面補修13件<br>路面補修25件 排水施設5件 安全施設1件<br>倒木撤去47件 |
| R1 | 73 | 76 | 59,681 | 崩土撤去10件 路肩修繕23件 法面補修15件<br>路面補修28件 排水施設16件 安全施設5件<br>倒木撤去 9件 |

**令和元年度版　豊田市森づくり白書**

令和２年８月

発行者　　豊田市

編　集　　豊田市 産業部 農林振興室 森林課

〒444-2424
愛知県豊田市足助町宮ノ後19-5
（豊田市足助支所地内）
ＴＥＬ：　0565-62-0602
ＦＡＸ：　0565-62-0612
E-mail:　shinrin@city.toyota.aichi.jp